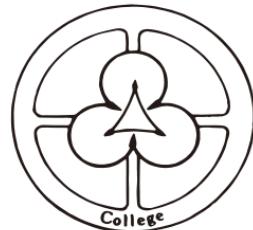
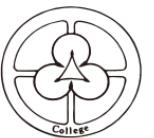


新
月

— SHINONOME —



(チャペル・トーク集 11号)

2024 年度

松山東雲女子大学・松山東雲短期大学 キリスト教センター

松山東雲女子大学・松山東雲短期大学 キリスト教センター

はじめに

『黎明』をお届けいたします。

今年度は、「平和を実現する人々は、幸いである。その人々は神の子と呼ばれる。」(マタイによる福音書5章9節)の聖句をもとに、「心に平和を」をテーマとして掲げ、計20回のチャペル・アワーを実施することができました。これもひとえに、近隣の教会、ご講話くださる講師の皆さま、そして学生・教職員の尊い奉仕とご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。

新たな取り組みとして、前学期と後学期に一度ずつ音楽チャペルを開催いたしました。第2回目の音楽チャペルでは、学生・教職員に加え、認定こども園の園児や保護者の方々にもご参加いただき、平和を祈りながら共に音楽を捧げるひとときを持つことができました。

今後も、私たちが平和を大切にしながら歩み続けることができますよう、お祈りください。松山東雲女子大学・松山東雲短期大学のチャペル・アワーの歩みに思いを寄せていただき、ご一読いただけましたら幸いです。

キリスト教センター長 蔵前 知美

目 次

<2024年度前学期始業チャペル・新入生歓迎チャペル>

心に平和を・・・女子大学・短期大学 学長 高橋 圭三 3

<イースター・チャペル>

踊り出るいのちは・・・日本キリスト教団松山教会牧師／女子大学・短期大学 非常勤講師 上島 一高 7

<開学記念チャペル>

私の青春時代（その1）・・・松山東雲学園
理事長 丸木 公介 11

<牧師招待チャペル>

共に生きるとを願って～教会こども食堂・フードバンクの働きを通して～・・・日本キリスト教団三津浜教会牧師／NPO法人イクソス 理事長／松山市子ども食堂ネットワーク共同代表／えひめ地域こども食堂ネットワーク中予事務局 森分 望 14

<前学期終業・音楽チャペル～Pray for Peace～>

共に食べ、共に歌う【附・当日プログラム】..... 18
女子大学 非常勤講師 高井 郁代

<後学期始業チャペル>

なぞなぞ なになに なにぬねの..... 23
女子大学・短期大学 宗教主事 上島 一高

<理事長講話>

私の青春時代 その2
松山東雲学園 理事長 丸木 公介 27

<広島平和学習チャペル>

ああヒロシマよヒロシマよ
【附・「願い」 作詞／作曲 橋本 真 歌詞】.....
谷の百合幼稚園園長 橋本 真 31

<学生活動分かち合いチャペル「紙芝居読み聞かせ」>

愛媛のマザー・テレサ 城ノブ.....
女子大学・短期大学 宗教主事 上島 一高 35

<人権問題学習チャペル>

自分らしく生きるために～女性差別について～.....
松山人権擁護委員協議会 人権擁護委員 名智 咲子 38

<音楽チャペル～Pray for Peace II～>

【当日プログラム】 キリスト教センター 42

<アドヴェント・チャペル>

マリアのマトリョーシカ.....
女子大学・短期大学 宗教主事 上島 一高 45

<後学期終業・クリスマス・チャペル>

天使の合唱「地には平和」.....
女子大学・短期大学 宗教主事 上島 一高 49

心に平和を

女子大学・短期大学 学長 高橋 圭三

チャペルへ、ようこそ。本日「心に平和を」というテーマで平和について皆さんと一緒に考えてみたいと思います。さて、私が皆さんにお話しする「心に平和を」です。このタイトルを頂き、何を伝えようかと思案いたしました。

皆さんは現在の日本の国をどのように感じているでしょうか。少子高齢化が進み労働力不足、そして高度経済成長と言われていたのはかなり昔の話で、経済的にも世界の先進国の中では遅れを取っていると言えるでしょう。一時 TORON という国産の無償の OS が開発され、日本はコンピュータ技術で世界を牽引していた時代がありました。しかし、今はそのほとんどがアメリカの企業が主導権を持っていようです。さらにジェンダーギャップ指数では少なくとも先進国とは言えないような結果をその順位が示

しています。

そのような中で平和とはいっていい何なのかと一緒に考えて見たいと思います。漢字で平和を平らな和というように表記します。この和という漢字には「争いごとがなく穏やかにまとまる」という意味や「性質の違うものが一緒に溶け合う」または「声や調子を一つに合わせる」というような意味があるそうです。そしてこの和には古い日本の國を書き示した魏志倭人伝にある倭の國というのがあります。倭の國の倭は日本に入った後から平和の和に変化したとも言われています。日本語の「WA」という音韻に漢字を当てはめたのか、意味を含めて漢字を当てはめたのかは別として、漢字を取り入れる以前から倭の國である日本は人の輪を大切にする平和な争いのない国だったようです。

平和という単語は英語では Peace と表現しますが、この語源はラテン語の Pax(パークス) が語源です。Pax は平和という意味と同時に「平静」、「敵意欠如」、「調和」さらに「戦争と戦争の間の期間」であるとか「停戦期間」というような意味があります。つまり、

白人文化の中での語源となる平和は戦争、争いのない期間を平和というようです。では何故争いや戦争が起こるのでしょうか？人類が二足歩行を始め、火を使い家族を中心とした群れの生活を始めた頃は外敵から身内を守るために、そして群れの食糧を効率的に狩猟採取・収集するために必要な集団としての機能が群れに求められました。

しかし、人類が定住し、農作物を栽培するようになると、農耕の効率、作付面積、貯蔵やリーダシップの有無などによって、自然と群れの中にヒエラルキーが出来上がります。そして最終的には食糧などの財産をより多く持てるものと少ない者の差が出てくるのは当然の流れです。ランドパワーフまり大陸国家はより多くの収穫を得るために、より多くの土地を確保しようとします。それが同胞の生活を守ることに直結するからです。つまりは闘争・略奪・搾取から戦争が起こるのです。自らの命と生活を守るためにといえれば聞こえはいいですが、その裏には利己主義的、排他的考え方があるように思われます。表現を変えれば戦争や争いがあって、平和があるとい

うことも言えます。人類というのは何という愚かな生き物なのでしょう。

しかし、恒久平和を多くの人々は望みます。戦争や争いのきっかけを作るのは常にごく一部の人々によって起きます。近代になってから戦争のあり方は近代兵器が使われるようになり、戦争産業が盛んになります。そのような世界で戦争産業を後押しする人々とはどのような人々なのでしょうか。考えたくもありません。しかし、世界にはそのような人々がいるのも事実です。そうでなければ、戦争兵器の開発、高性能な兵器が世に出ることはないはずです。

先に、日本、倭の國の話をしましたが、日本列島にはそれ以前から人々が住んでいました。かつて、長い争いのない期間が日本列島にありました。この長い歴史上の時間は日本人の DNA に刻み込まれた多少の環境の変化では搖るがすことのできない平和の感覚を日本民族に定着させたと言えるのかもしれません。

まず、最初にキリストが生まれた西暦元年。そして大和の國、神武天皇が即位したのが皇紀元年。

今から 2684 年前です。それに比べると昭和・平成・令和を合わせた 98 年間はほんの一瞬です。人生 100 年時代といわれますが、ほぼそれに対応します。しかし、実際に 100 歳まで生きる人はどれ程いるでしょうか。日本で国としての法が機能し始めた大宝律令は西暦 701 年。古墳時代は最近の考古学で西暦 250 年から 538 年と言われています。それ以前の、縄文時代、弥生時代は何と長い時間が過ぎていたのでしょうか。この縄文時代はおよそ 1 万 4 千年間ほど続いたといわれています。

青森県東津軽郡外ヶ浜町の大平山元（おおだいやまもと）遺跡で出土した縄文土器に付着していた炭化物の年代測定で 16500 年前であることが分かり、それ以前は石器時代、日本全国で 1 万点以上の石器が見つかっています。考古学の研究者によって日本列島の石器時代の始まりはまちまちで、12 万年前からという見解、4 万年という見解さまざまです。どちらにしろ、我々日本人の祖先はかなり古い時代からこの日本列島に住み着いていたと言えます。

この縄文時代は発掘された人骨等の調査から闘争の痕跡がありません。

狩猟採取民族は定住せずに豊かな食材を求めて土地から土地へと移動します。しかし、日本列島に住み始めた我々の祖先は狩猟採集生活でありながら定住し村を作っていました。狩猟採集で得ることできた食材は村の全員に分配され、穏やかな生活が続いたようです。これは石器時代から急にそのような生活に変わったのではないと思います。遡ること何万年以上も前から日本列島に住み始めた我々の祖先は争いを好まず同胞を大切にする人たちだったかもしれません。つまり、何万年もの長い月日の中で我々の DNA の中に組み込まれている気質というものは穏やかさ、平和を希求する性質があると言えます。

稲作等を通して財を持つものとそうで無い者の差ができたにも関わらず、日本の国の天皇制は他民族とは違ったシステムでした。第 16 代の仁徳天皇の治世に有名な逸話があるので紹介します。仁徳天皇は高い山から周りを見渡し、見渡す限りの国の中

に釜戸の煙が出ていない。これはどういうことだ。国中の皆が貧窮して食べるものがいいのだろう。これから三年間は人々から課税と使役を免除するとおっしゃられた。そのため天皇の住む住居が壊れ雨漏りをしていても修復もせず、耐え凌ぎました。三年後、再度、国中を見渡すと釜戸の煙に満ち満ちていたので課税を再開したと伝えられています。

西洋の王族が住む城は外敵からの攻撃に耐えるよう攻め入るのが難しい場所にあります。反対に、日本の天皇が住む御所は外敵を想定しているとは言えないような立地条件にあるのが特徴です。つまり、基本的に争いを好まない民族だったと言えます。戦さのプロである武士に関して新渡戸稻造の著書「武士道」や旧佐賀藩の鍋島家に伝わる「葉隱」「葉隱武士道」とも言われる復刻版の書籍で武士は決して交戦的戦争集団ではない事がわかります。むしろ、繊細でナイス、君主に絶対的忠誠を誓った戦さの専門家であったと言えます。戦前のこれらの本を読むと昔から連綿と伝わる日本人の心が垣間見えます。

最後に、昔イギリスにビートルズというロックバンドがありました。彼らの中にジョン・レノンというミュージシャンがいて日本人の小野ヨーコさんと結婚したことでも話題になりました。ジョン・レノンはビートルズの解散後イマジンという曲を発表しました。もし機会があればこの曲を訳してみてください。このイマジンという曲の歌詞の意味は個人的に先ほどお話しした縄文時代の人々のことのような気がします。ジョン・レノンが望んだ世界が実現すると、戦争と戦争の間の平和ではなく、本当の意味での平和を人々は享受できると確信します。皆さんも戦争と戦争の間の平和ではなく、今ここで生を営む同胞への愛として平和を希求して欲しいと思います。

(2024 年 4 月 9 日)

ウクライナ難民のカウンセリング等をしている花村カテリーナさんが来松されました。松山教員会で精神科医、バングラデシュでも医療に従事した宮川眞一さんが松山市医師会の講演会企画で招いた方です。

その日の午前中には松山教会主催の懇親会で、カテリーナさんの声に耳を傾けることができました。そのお話から感じたのは、「単純化すると、物事の本質を見誤らせる」ということでした。

そもそもカテリーナさんは、幼い頃、日本で仕事をする祖父について来日。祖父の母語はロシア語。実は、ウクライナには、ウクライナ系の人もロシア系の人もいます。公用語こそウクライナ語ですが、日常的にロシア語を使う人も 1/3 いるのです。

ただ、10 年前のロシアのクリミア併合以来、緊張が高まっていました。人々の自然な思いも国際情勢や政治状況によって、否応なしに歪められますが、カテリーナさんはウクライナ難民のために働きつづく、ロシアの人々や文化や言葉を憎みません。

「♪百万本のバラ」に戻りましょう。加藤登紀子

さんは、世界各地で、特に旧ソ連の各国でこの歌を歌って来ましたが、今や「ロシア語だから歌えない」という声を受けてとめつつも、「歌は国を越えて心をつなぐ」という想いで、歌の故郷ジョージアへと向かいます。

ただ、民族音楽祭で地元の合唱団に「♪百万本のバラ」をロシア語で一緒に歌おうと申し出るも断られ、愛する人を戦争で喪った悲しみを歌うジョージア民謡を共に歌います。しかし、首都トビリシでは日本語とロシア語で歌い上げます。こう言って。

「この『♪百万本のバラ』という歌は、ただロシアのヒットソングであるだけではなく、心の中の思いは『どんなに不自由で届かないものであっても、必ず表現しなければ』という勇気を私たちにくれた歌で、今こそ歌わなければいけない歌だと思っています。」

歌い終えた加藤登紀子さんに、聴衆は心からの笑顔で拍手を送りました。聴衆の、何か様々な形で閉じ込めていた率直な思いをこの歌が解き放ったのです。わたしは感じました。「これは、聖書が物語る

復活（イースター）」ではないか。

歌い終えた加藤さんは言います。「ロシアの口も思い出したくないっていうような否定的な気持ちの中で、この歌が遠くに去っている。歌の運命は色々に曝されて来て、それでも生きぬいて来た歌っていうのがあって、この歌もその一つだと思う。」

声を封じ込める事、歌を閉じ込める事、踊りを閉じ込める事はできないのです。なぜなら、それは、困難や死さえも乗り越えさせる「いのち」だからです。そして「いのち」を言い伝える復活の物語も消えることはないでしょう。

このように、キリスト教は、敗者によって歌われた「いのち」の歌を歌い継いで来たのです。もっとも、そんなキリスト教もいったん力を持つと、歌を単なる勝利者の歌に変え、自分の正しさで他を支配したこともありました。しかし、イースターは原点を取り戻せます。

私たちは、2022 年 2 月 24 日から続く終わりの見えないウクライナ戦争の中で、また、昨年 10 月 7 日に再注目された、以前から長く続くガザにおける

パレスチナ人抹殺の動きの中でも、心に無数の傷を受け続け、湧いて来る憎しみ、無力感に対処しかねています。

そんな時に、迎えたこのイースターは、私たちに想い起させてくれます。敵味方を越えた「いのちの歌」は、傷つけられても甦ると。一時、政治的プロパガンダに煽られて憎しみを燃やしても、同じ「いのち」を与えられている人間同士の絆を取り戻すことができる。

今年のチャペルのテーマは「心に平和を」。確かに、戦争が終わることを平和と言います。そして、私たちはそれを望みます。しかし、心の中に無残な傷を残したままでは平和はなお遠いのです。心が本当に踊り出すような平和を求め、そのために祈り、働きましょう。

(2024 年 4 月 16 日)

<イースター・チャペル>

踊り出るいのちは

マルコによる福音書 16：1 - 8

日本キリスト教団松山教会牧師
女子大学・短期大学非常勤講師

上島 一高

「♪おどり出る姿で主イエスは、神が全て造られた日も、飼い葉おけに生れた夜も喜びを告げた。踊れ輪になってリードする主と共に、福音の喜びへと招かれた者は、みな」。「踊れ輪になって、リードする主（イエス）と共に」と、心弾んで歌う歌ですね。

この大学、よく歌うなと感じているでしょう。しかも讃美歌を、と。ただ、神を讃美する歌とは、裏返して言えば、神に愛されているわたしたちが「いのち」を喜ぶ歌なのです。だから、今にも踊り出しそうな、先ほどの歌なんかがあるわけです。

原詞は英語、しかもイエス自身が、出来事を振り返りつつ歌っています。（直訳すれば）「僕は踊った。世界の始まりの朝」。続いて、「僕は月で踊った、星

で踊った、太陽で踊った」、宇宙空間で踊ったと言っているのです。想像してみてください。

イエスは続けます。「そして、僕は天から地上に降り立って、また踊った」。そう、ベツレヘムの馬小屋の飼い葉桶に、マリアの赤ちゃんとして生まれて。すやすや眠ってるんじゃなくて、手足をバタバタ動かしてダンスしているんです。

成長したイエスは、いろんな人たちにダンスを呼びかけます。これに応じてイエスと共に踊りに加わる人たち、その中には魚を獲っていた漁師たちもいました。また病気だったけれど元気になった人たちも。でも、そんな人たちばかりではありません。

ダンスを断る人たちは、人々からダンスを奪い、ダンスのイエスを捕え、十字架で殺し、墓に閉じ込めます。ダンスができない、消えてしまった。踊りは禁止されてしまった。「彼らは、僕が逝ったと思った。でも何たって僕はダンスなんだぜ。だから、僕は踊り続けるのさ。僕は<いのち>だから」。

だから、日本語歌詞の最後はこう歌われます。「♪重い墓石をも蹴破り、朝の光耀り輝いて、踊りの主

イエスは甦り、初穂となられた」。ダンス、いのちであるイエスは墓穴を塞いでいた重い墓石を蹴破り、皆僕に続け！と、甦りの初めとなった、と。

どんな力も、いのちをダンスを封じ込めることはできない。ヒップホップ風に歌えば、「踊り辞める？♪ それってありえる？♪ 僕は踊れる、踊り続ける、こころから言える。君も踊れる。」上手なヒップホップなら、ダンスに誘われて、思わず体が、心が動く私たちです。

ダンスをがまんし、断って、自分を閉じ込めたくはない。また、人を閉じ込めてしまうのもつまらない。そもそも、閉じ込められっこない。ダンスはいのちそのものだから。イエスは甦ったという物語は、こうして今まで言い伝えられて來たのです。

さて、『百万本のバラ』という歌があります。「♪百万本のバラの花を あなたにあなたにあなたにあげる 窓から窓から見える広場を真っ赤なバラでうめつくして」。歌手・加藤登紀子による日本語版でよく知られ、先日TVでも特集されました。

元歌は、1980年台に旧・ソ連のグルジアで、仏

女優マルガリータと出会った画家の逸話から誕生。ソ連は1988年以降、次々にロシアと周辺の諸国へと分裂。最も西がウクライナ、南接する一つがジョージア（旧国名グルジア）です。

貧しい画家が旅の女優に恋をし、全財産を費やしてバラを買い広場を埋める。女優は彼の仕業と気づかず次の町へ去る。貧しい絵描きは、その後も孤独な日々を送るが、思いの丈を届けたバラの思い出は心に消えなかったという、切なくも心打つ歌。

ロシアのウクライナ侵攻後、「『百万本のバラ』はロシア語の歌だから歌えない」との声が高まりました。ウクライナの首都キエフが、ロシアの侵攻後、キーウと読み換えられたように、ロシア読みやロシア語が厭われ、避けられるようになったのです。

私は当時、ウクライナのことを今以上に知らなかつたので、何となく、ロシア語を追い払うことがウクライナからロシア軍を追い払うことに繋がると漠然と共感していました。戦争を止めようとするロシア人の声のあることも知つてはいましたが。

そんな中、昨年のこと、在日ウクライナ人で、

＜開学記念チャペル＞

私の青春時代（その1）

松山東雲学園 理事長 丸木 公介

私は 1952 年松山市の瀬戸内海沿岸の大可賀町で生まれました。戦後 7 年たったころです。その頃の様子は、私の記憶にはありませんが、写真で見る限りあまり豊かな生活ではなかったと思われます。

自然の中で気ままに自由に生きていたように思います。大可賀の海は遠浅で海水浴には最適なところでしたが、日ごとに工業化が進み、埋め立てされ、貨物船が入る港となっていきました。そしてその海は遊泳禁止の場所となりましたが、それでも子供たちはそこで泳ぐことを止めませんでした。結構危ない目にもあい、今まで無事に過ごせたのが信じられません。

ちょうど日本が高度成長期で、子供心に「日本が発展していくんだな」という、未来に対する明るい希望を感じていました。その一方で海はよごれ、

小川にはメダカやフナなどの魚がたくさん泳いでいたのが、一時は全くなくなってしまい自然がなくなり、寂しさも感じました。

近くに石油コンビナートが形成され大きなタンカーが着岸し原油を下ろしていました。大きな石油タンクがいくつもでき、地元の漁業の人たちの立ち退き問題が生じ全国ニュースになりました。近くの田んぼも次々と埋め立てされ、大きな倉庫ができました。その空き地で子供たちは大人に怒られながらも遊んでいるのが日常でした。

1961 年 4 月期から池田隼人内閣の所得倍増計画が始まり 10 年間で実質国民総生産を倍増させることを目標に掲げ、その後日本経済は計画以上の成長をしています。その恩恵を被ったのか、1964 年私が小学校 6 年生の時に我が家も念願の家を新築することになりました。

ちょうど東京オリンピックの開催の年でマラソンでは君原健二が日本のエースで、金メダルの期待を背負って出場しましたが、エチオピアのアベベに屈し 8 位に終わりました。一方、円谷幸吉は 3 位でゴー

ルし、このオリンピックの陸上競技唯一のメダルを取得しました。君原健二は、一番メダルに近いといわれていたのですが、そのプレッシャーに押しつぶされ、その実力を出せずに 8 位という成績に終わりました。

8 位は立派な成績なのですが、日本国民の期待があまりに大きく、小学生の私もがっかりした記憶があります。また銅メダルを取った円谷幸吉とは無二の親友であったが、宿舎に戻ったその日は、円谷に対して羨望と嫉妬と賞賛の入り交じった感情を抱き、眠れなかったそうです。東京オリンピック終了後福岡に帰り君原は八幡製鉄陸上部に退部届を提出するほど落ち込み、それから一年ほどはレースに出なかったそうです。

一方、銅メダルの栄光をつかんだ円谷幸吉は、東京オリンピック後講演などで忙しく、次のメキシコオリンピックの期待もあり、休まずトレーニングを開始したことでしたが、その激務がたたったのか、怪我や腰痛の悪化により入院やその療養が続き、精神的に追い込まれ、3 年後の 1968 年 1 月に「父

上様母上様三日とろろ美味しいございました」で始まる有名で感動的な遺言を残して、自らの命を絶ちました。

君原は「私には 8 番の力しかないと納得していた。代表の責任感はつらく、もう味わいたくないと思った」との事で、時間と共に円谷との複雑な気持ちも乗り越え、その後メキシコオリンピック代表となつた時には「このレースを走りたかったのは円谷くん。彼のために走ろう」と、メキシコ五輪のスタートラインに立ったそうです。そこで銀メダルを取り、ミュンヘンでも、5 位入賞と日本人選手としては最高の成績となりました。

この 2 名の選手を私は両名とも素晴らしい選手で尊敬をしておりますが、円谷選手にはどんなことがあったにせよ、生き抜いて欲しかったなと思います。あの時代がそうさせてしまったのか誠に残念です。

そして私は小学校を卒業し地元の中学校に進みました。同級生に伝書鳩を飼っている人がいて、その伝書鳩が遠くからでも飼い主の鳩小屋に帰ってくることに興味をもち、伝書鳩を飼いたくなりました。

この伝書鳩を飼うには鳩小屋つまり鳩舎を作らなければなりません。どんな鳩舎にしなければならないか、そして何羽くらい飼いたいか、それによって鳩舎の大きさも決まります。レース鳩を育成し、レースに参加して入賞させるのが、私のその時の夢でした。ですので毎日・鳩・鳩・鳩であり頭の中が鳩だらけになっていました。そのため鳩の本ばかり読みあさり、愛読書は「愛鳩の友」という月刊誌でした。

しかし、今になって思えばこの鳩を飼いそれに熱中することで多くを学んだ気がします。鳩には申し訳ありませんでしたがいろいろと失敗もしましたが…。自分が構想している鳩小屋つまり鳩舎を作るのに材料をどのように調達するか、お金が乏しいのでどうするか、当時は風呂を沸かすためにいろんな廃材があり、それを利用することができないか、日々考えていました。その廃材を使うことは当時の人たちは、寛大に見守ってくれていました。しかし当然ながら大人たちが手伝ってくれるわけではありませんでした。それでも何とか不細工な出来栄えでしたが、鳩小屋が完成しました。

鳩を飼育することには特に差し支えありませんでしたが、鳩レースで良い成績を挙げるためには、まず血統の良い鳩を飼い、よい餌を食べさせ子供を産ませ、その鳩を訓練しなければなりません。この鳩レースの世界は大人の世界でした。まず日本鳩レース協会に加入しその支部である松山鳩レース協会の会員にならなければなりませんでした。

鳩レースはどのような競技かというと、日本鳩レース協会に自分のある鳩舎（鳩小屋）の場所を、定められた地図に針で穴をあけ、登録します。そして会員が持ち寄ってきた鳩に、定められたゴム管を付け、朝早くに一定の場所に運びます。そこから一斉に籠から放して、それぞれの鳩舎に向かいます。参加した会員は自分の鳩舎に帰ってきた鳩のゴム管を外し、それを鳩時計に挿入して記録します。そして 1,000mを何秒かかったかを計算し、一番早かったものが優勝となります。

しかし、残念なことに私にはレース鳩が帰ってきた時に記録する鳩時計が高価なもので購入できませんでした。そこで止む無くそのゴム管を鳩から外し

て、鳩時計があるところまで自転車を漕いで運びました。ですので、私の鳩の記録は、私の自転車で移動した時間も含まれていることになります。それでも、自分の鳩が自分の鳩舎に帰ってきた時は感動しました。私が育てた鳩で一番遠くから帰ってきたのは京都府の舞鶴からです。もちろん優勝とか入賞とかは一度もありませんでしたが…、ということで中学校時代はこの鳩レースに熱中しました。

このようでしたので勉強もできず、また、スポーツもできない何事にも自信が持てない、コンプレックスの塊のようになっていました。そこで、新田高校に入学したのですが、同校の評判は運動部が大変厳しいと聞いていました。それなら、とにかくその厳しいといわれる新田高校の運動部に入って、何が何でも 3 年間続けてみようと決意しました。高校でのテーマは私に最も欠けている「忍耐」することに決めました。書道用の和紙に大きく、生きよいよく「忍耐」と書いて自分の部屋に貼り付けました。

新田高校に入学するとすぐボート部の人が勧誘にきました。私のクラスのものは、みんな断っていましたが、私はふたつ返事で入部するといつてしましました。その日から 3 年の国体予選が終わるまで寝ても覚めてもボート・ボートの忍耐の日々が始まりました。

(2024年5月13日)

*続きは、「私の青春時代 その2」(→27頁)

<牧師招待チャペル>

共に生きることを願って

～教会こども食堂・フードバンクの働きを通して～

ヨハネによる福音書6：1-15

NPO 法人イクソス理事長

松山市こども食堂ネットワーク共同代表

えひめ地域こども食堂ネットワーク中予事務局

日本キリスト教団三津教会牧師 森分 望

皆様、三津に遊びに来られることはありますか。

わたしの仕えている三津教会は、三津にある小さな教会です。今年創立 106 周年を迎えました。三津教会の礼拝堂は、大きな魚の形をしています。少し変わった形ですが、設計者の森一清さんが、三津のイクソス（魚）であることを願って、1964 年に建築されました。

イクソスとはギリシャ語で魚の意味です。ローマ帝国の支配下、キリスト教が激しく迫害された時代にキリスト者は「イエス・キリストは神の子、救い主」

という告白のギリシャ語の単語の頭文字をとったイクソス（魚）を信仰のシンボルとしました。聖書の中には、魚にまつわる話がでてきます。本日の聖書の箇所は、少年がイエスに差し出した二匹の魚と五つのパンが、五千人の人を満たしたという奇跡物語です。三津教会は、三津のイクソスとしてキリストを中心に分かち合い、助け合って繋がる働きを大事にしていきたいと願っています。

その働きの一つに、教会こども食堂やフードバンクの働きがあります。2019 年に開店した教会こども食堂は、毎月一度、礼拝堂を食堂に変身させて、

0 歳～ 90 歳の方までの多くの方々と温かい手作りの食卓を囲んでいます。子ども食堂とは、子どもが一人でもいくことができる、無料または低額の食堂のこと、現在全国では、1 万軒を超える食堂がボランティアで活動しています。教会こども食堂でも、大人 300 円、子ども・学生（大学生まで）は 100 円で心を込めて作った食事となごやかな時間を楽しむことができます。

教会こども食堂をはじめるきっかけは、助けを求めてこられた一人の人との出会いです。知的障がいをもつこの男性は、トラブルに巻き込まれて自殺未遂・生活困窮などの辛い状況でした。トラブルは少しずつ解決に向かい、毎週の礼拝や祈り会、聖書研究会にも出席されるようになりましたが、困窮のためいつも空腹で困った顔をされていました。その時に、教会では一人の人に食べものを分かち合う手段ももっていました。

聖書には、「わたしの兄弟たち自分は信仰を持っているというものがいても、行いを伴わなければ、何の役に立つでしょうか。そのような信仰が、彼を

救うことができるでしょうか。着るものもなく、その日の食べものに事欠いているのに、体に必要なものを何一つ与えないなら、何の役に立つのでしょうか」（ヤコブの手紙 2 章 14～17 節）と書かれています。イエスの福音（よい知らせ）とは、理念的で冷たいものではなく、温かい実感のある愛だったのではないかと思います。

「地域に開かれた温かい教会」を目指し、改めて教会の周りを見渡してみると、子どもたちの 7 人に 1 人は貧困で、近くで孤独死が続くなど、大人も困窮・孤独・孤立の状況がありました。話し合いの末、教会は、子ども食堂を始めました。開店一年後にはコロナ禍に入り、多くの人が経済的に追い詰められて SOS が届くようになりました。現在では、中予にある多くの教会に支えていただき、企業や個人の方の協力を得て、60 団体（子ども食堂 40・福祉団体 20）に年間 40t の食料を提供する団体になっています。

フードバンクとは、まだ食べられるのに捨てられるもったいない食品（例えば、規格外の野菜や賞味

期限内の期間の三分の二を過ぎたもの等）を企業や農家、個人の方から頂いて、子ども食堂や福祉団体・地域活動・必要な方に届けて有効に活用して繋がり、フードロスも削減する活動です。松山東雲女子大学・短期大学にも学内に小さなパントリーを設置していただいて、学生の皆様に楽しんでいただけるように、毎月心からの応援の祈りを込めて食品をお届けしています。

今日の聖書の物語では、イエスのもとに 5 千人以上の人たちが押し寄せています。外国の占領下、王を中心とした階級制度と宗教が絡み合い多くの人が重税で苦しめられ困窮する時代でした。宗教的にも貧しい人・病気の人・障がいを持つ人、外国人は汚れているとされ罪に定められていました。女・子どもは数に數えられない差別的な時代に、イエスは、どんな時代にも変わらずに一人ひとりを愛してくださいとする神の義（愛）を伝えます。苦しめられている人々は今まで聞いたこともないイエスの福音とその力を見聞きして、集まっています。

イエスは群衆を見て「この人たちを食べさせるに

は、どこでパンを買えばよいだろうか」と弟子たちにたずねます。そのやりとりを見ていたのか、少年は二匹の魚と五つのパン差し出します。弟子はこれを指して「大勢の人では何の役にも立たないでしょう」と答えます。イエスは、人々を座らせるように言われ、人々は草の上に座ります。イエスが感謝の祈りを唱えて、人々にパンと魚を分け与えられると、人々は満腹して、なお残ったパンは12の籠に一杯だったと書かれています。

この時代に罪に定められている人、差別されている人、女も男も子どもみんなと一緒に座って食事をするということは考えられないことでした。この5千人の給食の物語は、4つの福音書すべてに記されていて、当時の人々にとってどんなに印象的な大事な出来事であったか知ることができます。

ありえない奇跡物語のようにも思われますが、今、子どもも食堂やフードバンクでも二千年前の聖書の奇跡と同じようなことを味わっているように思います。力もお金もない教会の子ども食堂に小さなひとり一人が持ち寄った小さなもののが集まり、今では食

堂もフードバンクも多くの人と分かち合う働きとなっています。この物語を読みながら少年がお弁当をもってきているのですから、もしかすると多くの人が食べ物を持っていたのかもしれませんと想像しています。

イエスによってみんなで一緒に座り、少年のささげたパンと魚を分かち合って食べた人々は驚き喜び、自分も持っていた物を差し出したのかもしれません。イエスの奇跡は到底人間にはできない魔法のような出来事ではなく、分断された社会の中で、どのように傷みを回復し、共に生きていくことができるのかを示します。余ったパンと魚が入った12の籠は、イスラエルの12部族を現わしているといわれます。部族を越えて、すべての人に恵みが届いていくことを示しています。

「今だけ、自分だけ、お金だけ」の価値が蔓延し、傷ついた社会の中で、イエスが教えてくださるように、ささやかで温かい交わりをつくっていくこと、イエスを中心に粘り強く共に座り、分かち合う共同体であることを願っています。

(2024年5月21日)

＜前学期終業チャペル＞

音楽チャペル ~Pray for Peace~

共に食べ、共に歌う

ローマの信徒への手紙 12:15

女子大学非常勤講師 高井 郁代

蔵前先生のギターで上島先生に歌っていただいた歌は、「パンとワインと共に」という曲です。原曲は、「ジーザス・クリスト・スーパー・スター」というミュージカル「最後の晚餐」の場面で弟子たちによって歌われます。

イエスキリストが十字架につけられる前の夜に、弟子たちと一緒に最後の食事をする場面です。レオナルドダヴィンチの有名な「最後の晚餐」の絵をご覧になったことがある方もいらっしゃるかもしれません。この絵は、元々ミラノの修道院の食堂の壁に描かれた壁画です。修道士たちはこの絵を見ながら、いつもイエス様と一緒に食事をしている、そんな気持ちになったのではないかと思います。

イエス様がパンとワインを弟子たちに分けて一緒に食事をした「最後の晚餐」の出来事は聖書に書かれているのですが、その出来事を思い出すために、教会の礼拝は2000年の間「共に食事をし、共に歌う」ということを続けてきました。

ミサや礼拝の中でパンとワインをいただく儀式を日本語では「聖餐式」とか、「聖体拝領」などと言いますが、英語では「コミュニケーション」と言います。「コミュニケーション」という言葉は、「コミュニティ」や「コミュニケーション」と同じ語源です。コミュニティとは、「共同体」、コミュニケーションは簡単にいうと「お互いの考え方や気持ちを伝え合うこと」だと思います。

私は、現在東雲の女子大でピアノを教えていますが、教会ではオルガニストをしています。上島先生が牧師をしている松山教会には、パイプオルガンや足踏みのリードオルガンやピアノもあり、日曜日の礼拝の他にも、結婚式やお葬式などでも様々な楽器を使って奏楽をします。

オルガニストというのは、オルガンを弾く人、

と思われていますが、あるアメリカ人のオルガニストの方から、「教会オルガニストの仕事は、弾くことではない。一番大切なのは、歌うことだ」と教わりました。礼拝に集まった人と共に自分とオルガンが歌うこと。だから、どうやったらみんなが歌いやすいか、どうやったらみんなの声を一つにして神様に届けることができるかということを大切に考えて、いつも練習しています。

礼拝でオルガンを弾いたり、歌ったりしているうちに気がついたことがあります。それは、礼拝とは「コミュニケーション」ではないか、ということです。誰とのコミュニケーションでしょうか。私が考えたのは三つのコミュニケーションです。一つ目は、人間と神様とのコミュニケーション。二つ目は、「私」と「そこに集まった人たち」、つまり、自分と他者との対話です。三つ目は、「私自身」との対話。

先ほど、コミュニケーションとは「お互いの考え方や気持ちを伝え合うこと」と言いました。自分の気持ちや願いを相手に伝わるような言い方で伝えること、また、相手の意見や気持ちを理解しようとして

聞くこと、両方とも大切なことだと思います。私たちは、「言わないでもわかってほしい！」とか、「違う意見の人の話は聞きたくないなあ」などと思うことがあります、それではコミュニケーションは成り立ちません。

また、先ほど、コミュニティとは「共同体」だと言いました。キリスト教のコミュニティは、「共に食べ、共に歌ったり踊ったりする」仲間でした。日本でも、お祭りの時に御神輿を担いで、一緒に歌ったり踊ったりします。「同じ釜の飯を食う」という意味の言葉は世界中にあるそうですが、一緒にご飯を食べたり、お茶やお酒を飲みながらおしゃべりをしたり、それからカラオケで自分の好きな歌と一緒に歌ったり踊ったりすることで、親しくなっていくこともあるかもしれません。

コロナ禍でせっかく入学した大学で、一緒にご飯を食べたりすることができなかった時期もありましたが、ようやくこうして、チャペルで一緒に歌ったり、お昼休みにはみんなでお弁当を食べたりすることもできるようになりました。

聖書には、「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」（ローマの信徒への手紙 12 章 15 節）という言葉があります。周りの人への共感が、コミュニティの平和を作り出していく第一歩になるのではないでしょうか。

「最後の晩餐」の絵を見ていると、実は裏切り者のユダがいたり、十字架に付けられるイエス様を、3回も「あんな人は知らない」と逃げてしまったペトロも描かれています。十字架に付けられようとしているイエスを前に、弟子たちはみんな散り散りになってしまいました。

でもその後、バラバラになった弟子たちは一人でいろいろと思い出します。そして一緒にご飯を食べて、一緒に歌を歌ったイエス様と仲間たちが、今も自分の中に生きていて、いつも共にいることに気づきました。一人でいても、いつもみんな一緒にいることがわかって、もう恐れることがないことを知りました。

世界の平和は、願うだけではなく、実現しなければなりません。どうすれば実現するのかを一人ひと

りが考えなければなりません。まずは、隣にいる人を見てみましょう。どんなことを考えているのか、どんな気持ちでいるのか、どんなことを必要としているのか、何が好きで、何が嫌いなのか、想像してみましょう。そして、実際に話を聞いてみましょう。また、自分自身ともよく話してみましょう。自分は今、どんなことを考えているのか、どんな気持ちでいるのか、どんなことを必要としているのか、何が好きで、何が嫌いなのか。それを少しづつ周りの人たちに伝えてみましょう。

隣にいる人への想像力と共感から、本当のコミュニケーションは始まります。家族、友達、先生方、中庭で遊んでいる幼稚園のこどもたち・・・この東雲の小さなコミュニティの中で、みんなが優しい気持ちで仲良しになれば、それが世界の平和へつながっていくのではないでしょうか。

*以下は、当日のプログラム。

司式・キリスト教センター長 蔵前 知美

開会：音楽チャペル～Pray for Peace～はみんなで音楽のお捧げ物をするチャペルです。みんなで歌う曲は4曲あります。平和を祈りつつ、心をあわせて歌いましょう。

賛美：「♪平和を求めて」<うた><ピアノ>

平和を求めて 歩む民を
祝してください、世界の主よ。
戦いの声は 今も響き
夜の闇について なおとどろく。
途絶えることなく続けていこう、
平和を求める話し合いを。

汗して働く 人と人の
きずなは武器より さらに強い。
照らしてください、聖霊の炎、
この世の平和を阻む闇を。
与えてください、世界の主よ、
正義と平和と和解の日を

招きの言葉：マタイによる福音書5:9 <朗読>

平和を実現する人々は、幸いである、
その人たちは神の子と呼ばれる。

賛美：「♪Amazing Grace」（英語）1節を2回
<うた>、<ピアノ>、<ウッドベース>

聖フランシスコの平和の祈り：<朗読>

神よ、わたしを
あなたの平和の道具としてお使いください。
憎しみのあるところに愛を
争いのあるところにゆるしを
分裂のあるところに一致を
疑いのあるところに信仰を
誤っているところに真理を
絶望のあるところに希望を
闇に光を 悲しみがあるところに喜びを
もたらす者としてください。
慰められるよりは慰めることを
理解されるよりは理解することを
愛されるよりは愛することを
わたしが求めますように。
わたしたちは、与えるから受け、

ゆるすからゆるされ、
自分を捨てて死に、永遠の命をいただくのですから。

さんび：「♪Give Peace a Chance」

All we are saying is give peace a chance

All we are saying is give peace a chance

OK, BEAUTIFUL !!

<うた>、<ウッドベース>、<ギター>、<カホン>

奉唱：「神の平和を」 <聖歌隊>

神の平和を われらに イエスの光 道を照らし

聖霊のいぶきで 包んでください

世界に恵み 満ちあふれる

聖書：詩編 33 編 2-3 節 <朗読>

琴を奏でて主に感謝をささげ

十弦の琴を奏でて ほめ歌をうたえ。

新しい歌を主に向かってうたい

美しい調べと共に喜びの叫びをあげよ。

奏樂：「春の海」 <箏>

手拍子練習：「おどり出る姿で」 <指導>

聖書：詩編 98 編 4-8 節 <朗読>

全地よ、主に向かって喜びの叫びをあげよ。

歓声をあげ、喜び歌い、ほめ歌え。

琴に合わせてほめ歌え

琴に合わせ、楽の音に合わせて。

ラッパを吹き、角笛を響かせて

王なる主の御前に喜びの叫びをあげよ。

賛美：「♪躍り出る姿で」

<うた>、<ピアノ>、<シロフォン>

奉唱：「パンとワインとともに」 <うた>、<ギター>

お話：「共に食べ、共に歌う」 高井郁代（前掲）

奉唱：「風と歌う」 <うた>、<ピアノ>

聖書：創世記 9:12-16 <朗読>

神は言われた。「あなたたちならびにあなたたちと共にいるすべての生き物と、代々とこしえにわたしが立てる契約のしるしはこれである。すなわち、わたしは雲の中にわたしの虹を置く。これは私と大地の間に立てた契約のしるしとなる。わたしが地の上に雲を湧き起こらせ、雲の中に虹が現れると、わたしは、わたしとあなたたちならびにすべての生き物、すべて肉なる者との間に立てた契約に心を留める。水が洪水となって、肉なるも

のをすべて滅ぼすことは決してない。雲の中に虹が現れると、わたしはそれを見て、神と地上の生き物、すべて肉なるものとの間に立てた永遠の契約に心を留める。」

合唱：詞・新沢としひこ／曲・中川ひろたか「にじくうた」

祝祷：上島 一高 宗教主事

聖歌隊:Dona Nobis Pacem (我らに平和を与え給え)
(2024年6月11日)

＜後学期始業チャペル＞

なぞなぞ なになに なにぬねの

マルコによる福音書4：30-34

女子大学・短期大学 宗教主事 上島 一高

イエスが人々にした「からし種」の譬え。小さい種が、やがて、葉の陰に鳥を宿すほどに大きくなるという「神の国」の不思議を伝えます。人間の思惑

が渦巻いて、争い合う、息苦しい世の中に、小さな種が落ちる。誰も目に留めず、期待もしないのに、神の世界は広がって行くのです。それをイエスは「なぞなぞ」で伝えたと言うお話。

「始まり、始まり」と行く前に、中川李枝子作・山脇百合子絵「なぞなぞえほん1のまき」福音館書店1988からなぞなぞを。実は、この二人、旧姓大村、姉妹です。そして、二匹の野ネズミを主人公とした、ご存じ絵本「ぐりとぐら」のコンビ。妹の百合子さんは2年前9月29日に逝去、それは姉・李枝子さんの誕生日でした。そして、先週10月14日その李枝子さんが天に召されたばかり。

「のねずみのぐりとぐらは、おおきなかごをもって、もりのおくへでかけました。 (♪) ぼくらのなまえは ぐりとぐら このよでいちばん…」
本題に戻りましょう。『なぞなぞえほん1のまき』からみなさんに、「なぞかけ」をします。

第1問「あさおきたらまずいくところ／おでかけまえにいくところ／ねるまえにもいくところ／いきたくなったら／がまんしないでいくところ／ひとり

きりでいくところ」って、なあに？ 「トイレ」ですね。

ここで、「ことば遊び」に参加していただきます。
わたしが言うことばを、繰り返してください。

なぞなぞ なになに なにぬねの (繰返し)

はは～ん はいはい はひふへほ (繰返し)

では次の「なぞなぞ」です。「きょうのごちそうなにかしら？／みないであてる／あながふたつのめいたんてい」。これって、なあに？ ちょっと難しい？ それちがいます。

まちがい まあまあ まみむねも (繰返し)

さあ、どうでしょう。はい、「はな」ですね。

やっぱり やった～ やいゆえよ (繰返し)

では3問め、最後です。「ひらくと／おはなしはじまって／とじると／おしまい」って、なあに？

そう、「(え)ほん」ですね。なぞなぞは、なんだろうと頭をひねりますが、分かると嬉しいものです。
今日の「なぞなぞ」もこれでおしまい。

らららん らんらん らりるれろ (繰返し)

わあ～い わあ～い わ・を・ん (繰返し)

さて、イエスも、人々に「神さまの国」、「神さま

の世界」ってこんなんだよと伝えるために、みんなに「なぞなぞ」(のようなお話)をしました。もっとも、答えは先に言ってしまっているのですが。ほら、答えが分かっても、「ストン」と胸に落ちなければ、「なぞなぞ」は終わらないですからね。では、イエスはどんな風に語られたのでしょうか。

なぞなぞ だいすき イエスさま (繰返し)

みんなに なぞなぞ なにぬねの (繰返し)

つちに まくとき ちいさいが (繰返し)

のびると その枝 鳥やどす (繰返し)

これって いったい なぞなんぞ (繰返し)

「木」「からしだねの木」ですが、それは何を指しているでしょう。

イエスさまつづけておっしゃった (繰返し)

そんな 木のように そだつのが (繰返し)

みんなの せかい！ かみのくに (繰返し)

いまは まだまだ ちいさいが (繰返し)

なかを のぞけば かみのくに (繰返し)

なぞなぞ こたえは ここにある (繰返し)

こども園では、こんな風に話しました。みんなもま

だ小さいけれど、神さまの国はみんなの中にある。そして、大きくすてきに育って広がっていく。ほんとうに不思議だけれど、ほんとうにほんとうなんだ。自分の中、友だちの中を覗いて欲しい。何が見えるだろう。」こうして、お話を閉じました。

大変な現実が今もあるし、これからも待ち構えています。でも、そのただ中に、希望を、単なる願望や妄想ではなく、希望の種を見つけることで、わたしたちの裡に力が湧いてきます。それは、ドラッグ・麻薬やカルトによる一時しのぎなものでは決してありません。

『ぐりとぐら』の作者・中川李枝子さんは『となりのトトロ』の「♪さんぽ」の歌詞も作っているのですが、こう始まります。

歩こう 歩こう 私は元気
歩くの大好き どんどん行こう
さかみち トンネル くさっぱら
いっぽんばしに でこぼこじゃりみち
くものす くぐって くだり み ち
なんだかわくわくしますよね。では、終わりをご

存じですか。次のように終わるのです。

歩こう 歩こう 私は元気
歩くの大好き どんどん行こう
狐も 狸も 出ておいで
探検しよう 林の 奥まで
友達 たくさん 嬉し い な
友達 たくさん 嬉し い な

この「さんぽ」というか「探検」をしているのは、さつきとメイの姉妹の妹メイですよね。彼女にとっては、「狐も 狸も」みな仲間です。だから、「友達 たくさん 嬉し い な」となります。彼女の世界では、おばあちゃんの教えてくれる「すすわたり」つまり「まっくろくろすけ」がいて、「猫バス」がいて、何よりトトロがいて、小さな木の種が、森になるのです。これってな~んだ、神の国。

最後に、中川李枝子さん追悼の思いも込めて、もりのおくへでかけたぐりとぐらが、どうなっていくかを斜め読みしておきましょう。砂糖で煮るため「どんぐりを かごいっぱい ひろい」、茹でてクリームにするために「くりを かごいっぱい ひろい」

しているうちに、大きな卵を見つけ、「あさからばんまでたべても、まだのこるぐらいのおおきなかすてらができる」と相談。

でも大きすぎて運べないので、「それじゃ、おなべをもってきて、ここでかすてらをつくろう」と「いいかんがえ」を思いつき、家から材料を運び、ぐりは、それをかきませ、ぐらは、いしでかまとをつくり、薪を集め、「おなべにバターをよくぬって、ぼーるのなかのざいりょうをいれて、ふたをすると、かまどにかけました。」そして、「うたいながら、やけるのをまっています。」

ぼくらのなまえは ぐりとぐら
このよでいちばんすきなのは
おりょうりすること たべること
ぐり ぐら ぐり ぐら

するとやってきた やってきた 森のなかまたち。「かすてらをつくっているんでしょう！ とってもいいにおいがするもの」「そうとも」、ぐりとぐらはそう答えて歌い出します。

かすてらづくりの ぐりとぐら

けち じゃないよ ぐりとぐら
ごちそうするから まっていて
ぐり ぐら ぐり ぐら
二人だけなら、朝から晩まで食べても残るはずですが、森の仲間と食べると、一瞬でなくなります。
あとに のこったのは、
からっぽの おおきな おなべと、
あの とっても おおきい
たまごの からだけでした。
さあ、このからで、ぐりとぐらは
なにをつくったと おもいますか。

半分に割ったきな殻に車輪をつけて、前に二人が乗り込んで、後ろに鍋やボールを積み込んで、お家に帰ります。

もし、ぐりとぐらだけでひとりじめしていたら、こんな話は残らなかつたでしょう。二匹は、カステラを惜しまず、森のみんなに分けて、一緒に食べたのです。だから、素敵なお話が残りました。このお話が生れてからなんと 60 年です。なくなると残るもの。それが、ぐりとぐらのお話でした。

これでおはなしは、すべておしまい。

チョキン・パチン・ストン、

(ノルウェーの童話『三びきのやぎのがらがらどん』のおしまい)

とっぴんぱらりの ふう。

(秋田地方のお話しのおしまい)

(絵本を閉じる)

(2024年10月22日)

<理事長講話>

私の青春時代 その2

松山東雲学園 理事長 丸木 公介

中学時代には、みなさんもいろいろあったと思いますが、私にも人間関係で様々な軋轢があり、これらをどのようにすればうまくいくのか、などとい

思いで過ごしていました。もっとたくましい自分をそして何事にも最後までやりぬく人間になりたいと、おぼろげながら思っていました。忍耐強い人間になりたいと思いました。当時の新田高校では今もそうですが、スポーツの部活動が盛んでどの分野の運動部でも県内ではトップクラスの状況でした。そこでせっかくこの新田高校に入ったのですから、この厳しいといわれている運動部に入部して、生ぬるい自分を鍛えなおしたいと考えました。

中学時代に少し剣道をしていたので剣道部も考えましたが、新田高校に入学してみると中学の時に出場した総合体育大会で上位に入っていたものがたくさん入部しており、入部を躊躇していると、ボート部の人が私のクラスに勧誘にきました。私は大可賀の海で何度かボートの練習風景をみたりしており、ボートもいいなと思っていましたので、私のクラスのものは、みんな断っていましたが、私はふたつ返事で入部するといってしまいました。その日から3年の国体予選が終わるまで、寝ても覚めてもボート・ボートの忍耐の日々が始まりま

した。

ボート（現在はローイング）競技では高校2年の時にはフィックスという種目で県大会3位となり、全国大会には出場できませんでしたが、3年の時にはナックルフォワーという種目で県大会に出場して2位となり、インターハイに出場することになりました。インターハイは大阪の浜寺公園のボート競技場で行われ、準決勝までは進みましたが、そこで敗退し全国大会の凄さを思い知らされました。ここで燃え尽きたような状況となったのか、国体予選にも出場しましたが平凡な成績となり、これで私の高校でのボート競技は終了しました。

高校時代は、これから進路についてはああでもない、こうでもないといろいろと考えました。建物を設計する一級建築士になろうかと思い、建築科のある大学も考えましたが、自分の成績では受け入れてくれるところがないとすぐあきらめました。

テレビドラマで牧場を舞台の青春ドラマをみて酪農も考え、すぐ北海道の酪農の大学に行こうかと考えた時もありましたが、今一つ踏み込む事にはなり

ませんでした。また何日かするとデザイナーになることはできないかとか思って資料を取り寄せたりしましたが、調べてみるとこれも大変な世界であり断念しました。結局これと言って何をしたいかがわからないまま時間が過ぎていきました。

高校2年の時の担任の先生があるとき本を読みなさい、毎日少しでも良いので本を読むことが重要であるということをいわれました。「人生とは」、「生きるとは」とか「何のために勉強をするのか」などなど、わからないことばかりで、何がなにやらさっぱりわからなくなりました。いろんな人の話を聞くのですが今一つ腹に落ちるものはありませんでした。悶々と過ごすなかで、その答えが本に書いているのかもしれませんと思いました。

そこで本屋さんへ行き、本の背表紙をみて何か感じるものがあればそれを購入し、少しづつ読みはじめました。とにかくはじめから終わりまで読み破ることを心掛けました。時間をかけじっくり読みました。なかなか読み進めないものもありましたが、あきらめず最後まで読みました。

そんな時に出会ったのが、経済評論家の三鬼陽之助さんが書いた「HONDA 商法」という本でした。

この本は世界中で車とバイクを売っているホンダのすごさについて書いた本で、17歳の少年はそれに圧倒されもっとホンダを知りたいと思いました。

この本との出会いで、本田宗一郎のスケールの大きい生き方や本田技研工業の経営の仕方に17歳の少年はえらく感動し、目的もなく大学に行くよりも本田技研に就職しその本田技研のDNAに触れたくなりました。

そんな少年が夜汽車に乗り、意気揚々と本田技研工業浜松製作所に行くことになりました。しかし、現実は甘くありませんでした。金属処理課鋳造部に配属されましたが、3交代の勤務は私は向きでした。実際やるまでは何でもできると思っており、私も高校時代はボートで鍛えた体力があると自負しており、それなりに自信があったのですが、仕事というものはそういうものではないと知らされました。結局この本田技研では、3か月程度で退職することになりました。社会の厳しさを感じた一瞬でした。

今思えばあまりにも未熟でした。結局私の夢はやぶれ、両親にお願いして大学に行かせてもらおうと考えました。とくかく大学4年間何をすればよいのかを考えたいと思いました。そこで、日本大学の商学部に進学し、体育会のボート部にはいることとなりました。大学のボート部は年中合宿で、早朝に起きてランニングから始まり一定のトレーニングをして朝食をします。朝食や夕食の準備、合宿所の掃除・布団敷などは1年生の業務でした。

大変といえば大変でしたが、高校の時の方が理不尽な事が多くてさすが大学だなと思うこともたびたびでした。トレーニングなども合理的でそれなりに充実していました。体力も日に日に回復し段々たくましくなってきました。早くレギュラーになりたいと希望っていました。

ところが、すべては順調に行っているように思えたのですが、一年先に入部していた2年生の中に、最初は私の入部を歓迎していたのですが、実際はボート部を止めたくてしかたない人がいて、私が入部した直後から一緒にボート部をやめようと毎日の

ように言われました。辞めたいのなら一人で辞めたらいいのではないかとか言っても、なかなか埒があきません。そのうち、何という心境の変化かだんだんと自分が一人でやめてやろうと思い始めました。大学の体育会の運動部を退部するのは一筋縄では行きません。いろんなプレッシャーをかけられることが多くあり、退部する人の多くは、「夜逃げ」同様の方法で辞めていました。

わたしもボート部の休日の日にみんながいないときには布団と荷物を持って脱走しました。当初一人で計画していたのですが、どういうわけか協力者が現れ脱走は成功し、事前お願いしていた先輩の下宿に身を寄せることとなりました。

脱走した直後当然といえば当然なのですが、ボート部監督はうちの両親に「丸木君が布団や荷物と一緒に、いなくなっている」と連絡したようです。その直後は家の者にとっては、私がどこにいるかわからない行方不明の状態でした。高校のボート部の部長や高校の先輩など、大学に入学するにあたり大変お世話になった人に対して裏切ったこと

になってしまい、顔向けができないこととなりました。ですので、ふるさと松山をする思いで決行しました。

身勝手にも自分のことしか考えていなかったため、ここで両親が出てくるとは想定しておりませんでした。両親が東京ってきて学校の門の周辺で私を探していたそうです。その様子を察知した大学の事務局の人が、私の両親に尋ねたそうです。「どうされたんですか」「ボート部の合宿所にいた子供が行方不明になったので探している」「詳しく話を聞かせてください」ということになったようです。それから、両親はボート部の合宿所にも行ったようです。

ちなみに、後日大学の事務局に心配をかけたので、私も行き大学の事務部長さんからお叱りを、受けましたが熱い方で、親身に相談に乗っていただきました。そのおかげで、私も日本大学を無事卒業できそれからの人生が開けてきたように思います。

両親とは、一晩ゆっくり話しました。ボート部には帰らないこと、大学はやめないことを伝えました。

ポート部には若干未練はありましたが、今更のこの
こ帰れないというのが私の考えでした。両親も理解
を示してくれ、どこまでも私にたいする協力の姿勢
を崩しませんでした。親心ぐらい有難いものはあり
ません。

(2024年5月7日)

＜広島平和学習チャペル＞

ああヒロシマよヒロシマよ

マタイによる福音書 23:37-39

谷の百合幼稚園園長 橋本 真

今日は私の父の話をします。私の父は被爆者です。
19歳のときに爆心地から 1.8km の千田町にあった
広島高等工業という大学で被爆しました。その頃、
父は広島駅より山の手側にある牛田に部屋を借りて
住んでいました。

8月6日の朝、父は大学の教授に電気実験用の
メーター類の疎開を命じられ、いつもより早く大学
に向かいました。もし、いつものように牛田の家を
出ていたら父は 8:15 頃ちょうど紙屋町（原爆ドー
ムのすぐ近く）を電車で通っていたそうです。メー
ター類の疎開がなかったら父は原爆で死んでいたと
思います。

8:15 父は友だちと一緒に研究室に座って「先生は
遅いなあ」と話をしていました。そのとき「ピカ！」
と閃光が走り、割れた窓ガラスが身体に突き刺さり、
研究室の衝立が倒れてきて、父は大怪我をしてしま
います。シーンとして真っ暗な、音が何もない空
白の時間がしばらくあったそうです。そのうち怪我
をあまりしていない友人たちが父を助け出してくれ
ました。ガラスが身体に突き刺さったせいで、父は
多量に出血していました。友だちも程度はいろいろ
ですが怪我をしていたので、みんなで大学より広島
の中心部に近い日赤病院に行って治療をしてもらお
うと歩き始めました。

しかし、日赤の方角から歩いてくる人は父たちよ

りもっと重傷の怪我や火傷をした人ばかりでした。父
たちは日赤に行くのをあきらめ大学に戻りました。大
学に救援バスがきたとき、出血の多い父を友だちが
頼み込んでバスに乗せてもらい港のある宇品へ、そ
して船に乗って似島に逃れました。広島と聞くと平
和都市というイメージがあると思いますが、戦前広
島は軍事都市でした。大陸へ日本兵を派兵するため
の軍事基地であった広島には、似島に軍の検疫所が
あり、医者も常駐していました。

父の寝かされた検疫所の部屋には何十人のひど
い怪我や火傷をおった人が寝かされていました。父
の隣に寝ていた中学生ぐらいの男の子は一晩中「痛
いよ」「助けてお父さん」と言いながら死んでいっ
たそうです。男の子は父のことを自分のお父さんだ
と思っていたのかも知れません。父はその男の子に
何もしてあげることができませんでした。

3日後、父と一緒に寝かされていた人はほとんど
死んでしまいました。「このままでは自分も死んで
しまう。」ふと部屋の隅に目をやると食缶という食
べ物を入れるバケツがあります。とにかく何か食べ

なければと這ってそのバケツのところに行き、中に
入っていた雑炊を手ですくいながらむさぼり食べま
した。すると、なんだか少し身体に力が出てきました。
「逃げよう！」お医者さんにそのことを話し、船
に乗りの許可をもらいました。

似島から船で広島に渡るときまだ桟橋には屍体の
山があって、その上を乗り越えないと船に乗ること
ができなかったそうです。両手を合わせながら船に
乗り、宇品から西広島まで歩き、西広島から汽車に
乗って山口県柳井の叔母さんの家に逃げたそうで
す。西広島まで歩くときたくさん丸焦げになった
屍体がありました。赤ちゃんを抱っこしたお母さん
の屍体もあったそうです。今ここではとてもお話
できないような、悲しいひどい状態の屍体が山のよ
うにあったと父から聞きました。

父の隣で一晩苦しみながら死んだ男の子、同じ部
屋に寝かされていて死んでいった何十人の人々、
そして何万人の人々が亡くなりました。私の父は
偶然の奇跡が重なり生き残ることができました。朝
いつものように家を出いたら、きっと父は死んで

いたことでしょう。もし学校で衝立が父に向かって倒れてこなかったら、校舎の梁の下敷きになって建物から助け出してもらえなかつたかも知れません。

放射能に汚染された黒い雨が降つたとき、父は似島へと逃げており、降り止んだ後に広島市内の中心部を避けて横断し西広島に逃れ、山口県に逃げることができました。肉親が広島にいなかつたので肉親を探し回ることなくすぐに広島を離れたのも、残留放射能をあまり浴びずに済んだことにつながりました。柳生は田舎で戦時中にも関わらず広島よりも食糧事情が良かったのも、とても幸運でした。

私の父だけでなく、原爆で生き残つた人々は、皆さんこういった何らかの奇跡を体験しておられるのです。亡くなつた方々と生き残つた方々は紙一重だったと言えなくもありません。だからこそ、亡くなつた被爆者一人ひとりの悲しみを私たちはできるだけたくさん知って、そのことをたくさんの人々に伝えていくことが大切だと私は考えています。もちろん生き残つた人たちにも、放射能障害など辛い思いをされた方がたくさんおられます。そのことも一つ

ひとつを伝えていく必要があると思います。

本日の聖書の箇所はマタイ 23 章 37 節～39 節までです。この箇所は、私の父が被爆によって焼け野原になった広島に友人とたたずんだとき、クリスチャンである友人がつぶやいた聖句です。この聖句はイエスがエルサレムは何度も神の使者や預言者を拒み、殺害してきたことを悲しんでいる箇所です。神はエルサレムを守ろうとしたが、人々はそれを受け入れることができなかつたことを嘆いています。

「ああエルサレム、エルサレム」という聖句を聞いたとき、父の脳裏に「ああヒロシマよ、ヒロシマよ」という言葉が浮かんだそうです。私たち人間の愚かさを焼け野原になったヒロシマに立つて実感したのだと思います。広島が軍都であったこと、広島から多くの兵隊が中国大陸などへ派兵されたこと、そういったことも当然私たちは知らないことはいけません。しかし、広島には多くの一般市民も生活しており、そこには戦時中で厳しくはあったと思いますが、それぞれの日常がありました。そのことも私たちは覚えて、伝えていかなくてはいけません。

私の父の被爆体験も原爆死没者追悼平和祈念館の被爆証言ライブラリーに行けば読むことができます。原爆に関する本もたくさん出ています。映画もあります。たくさんの真実を知り、そのことを伝えていくこと、とても大切なことです。そして、なぜ原爆が落とされたかを自分の頭で考えることもとても大切なことです。現在もウクライナ、ガザで深刻な戦闘が続き、一部で核兵器使用の議論にまで及んでいます。戦争を起こさないためにはどうしたら良いのか？それを考えること、現状を知ること、それが平和な世界を作り出していく第一歩だと思います。私は幼稚園の園長をしています。そのことを子どもたちと一緒に考えていくことも私の大切な仕事の一つだと思っています。

(2024年11月5日)

願い 作詞／作曲：橋本 真

*講話者が最後に歌われた歌（の詞）。

愛を感じたい みんなの願いで
夢を信じたい みんなの力で
ひとりひとりは とても弱いけれど
みんなの願いがつながれば
平和な世界が きっとやってくる
平和な世界が きっとやってくる

愛を感じたい みんなの願いで
夢を信じたい みんなの力で
ひとりひとりは くじけることもあるけど
みんなのくやしさがつながれば
平和な世界が きっとやってくる
平和な世界が きっとやってくる

愛を感じたい みんなの願いで
夢を信じたい みんなの力で
たくさんの真実 知ることで
すべての人を 大切にできれば
平和な世界が きっとやってくる
平和な世界が きっとやってくる

<学生活動分かち合いチャペル>

愛媛のマザー・テレサ 城ノブ

コリントの信徒への手紙一 13:13

女子大・短期大学 宗教主事 上島 一高

稻田美優さん（学生）による「読み聞かせ」で、森山佳代子脚本・大野美保画、紙芝居「城ノブの一生」を分かち合いました。本当にありがとうございました。多くのみなさんにとって、「城ノブ」、誰？かもしれません。その辺りの解きほぐしを含めて、紙芝居のフォローをしたいと思います。

まず、マザー・テレサについて一言。カトリックの修道女で、看取られずに死にゆく人々のために、その命の灯火つくるまで寄り添い、「神の愛の宣教者会」を育てて働きを広げ、ノーベル平和賞、アメリカ合衆国史上5人目に名誉市民を受けた方です。

さて、城のノブ、学制の始まった1872年（明治5）に誕生。もっとも、相当の間、女性が学ぶ環境の整わない時代に、漢学塾とさらに松山女学校で学

びます。この間の困難を彼女はこう振り返ります。私立松山女学校で、英語及び聖書を学んだのであります。それが塾の方に知れ、先生よりひどく難詰され、邪教を捨てよと迫られたのであります。その折男学生から嵐のような迫害を受け大切な聖書は焚（や）かれ、身体は棒で打たれ、鉄拳は飛ぶという有様で、当時の受けた傷は今尚記念として残っています。

ちなみに、ノブの弟・哲三（郎）も、ノブ同様、漢学および、デュークスから英学を学び、後に、この松山に北豫英学校を創立しています。現在の松山北高校の前身の一つです。デュークスはわずか10ヶ月の松山在住でしたが、この姉弟に大きな影響を残します。出会いは長さではないのです。

ノブは父親からの勘当（縁切り）を受け容れ、故郷を離れて、デュークス博士の神戸に向かいます。その後のこととは、詳かにしないのですが、しばし職業学校の教師を務めます。この間、博士との交流の深まりがあったことでしょう。

翌1891年（明治24）には、勧められた横浜の

聖経女学校神学科に入学し、キリスト教を修めます。この間、学校では、実習として、困窮者や病人を訪ねてお世話をしました。この時、後に夫となる伊藤友三郎との出会いがありました。

1893年、青森県の弘前女学院から招かれ、英語教師として赴任、伝道・教育に努めます。この間、日本基督（キリスト）教婦人矯風会で、「平和・廃娼・禁酒」を掲げて活動しました（同会は今日も性的被害や夫からDVを受けた女性のシェルターの働きを担う等、幅広く活動）。当時、松山女学校（現東雲）の創立者・二宮邦次郎も、愛媛における公設の遊郭を無くす廃娼運動に取り組んでいます。

さて、いよいよ、活動も本格化する最中の2年後、1895年、郷里の父、医者で儒学者、晩年は村會議員や郵便局長を務めていた父が亡くなります。すでに、弟により始められた講義所は、やがて川上教会となって行きます。その後、農村地域に使命を持つ教会として歩んでいます。

夫となる伊藤友三郎との再会は、最初に会ってから12年経った1903年（明治36）3月5日横浜バ

シリック・ホールでの「青森飢餓救援基金募集 音楽と演劇」会場。気候不順で数千人の餓死者を出している青森の人々のためのチャリティーコンサート。青森時代に活動を始めた矯風会の一員として、城ノブたちが取り組んだものです。そんなのノブ誘いの便りに友三郎も応えて、出かけてきました。

彼は明治法律学校（現・明治大学法学院）で学んだ新聞記者、社会問題に関心深い人物でした。出会いの場所は、二人の関係を象徴しています。この年の12月、聖経女学院礼拝堂で結婚。しかし、彼の社会主義思想・反戦思想は日露戦争近づく時代の中で弾圧され、結婚8カ月で彼は海外へ亡命。二人は離れ離れに。しかし、一子が与えられました。

1909（明治42）年に、ノブは請われて、静岡ホーム（孤児院）に教師兼保母長として赴任します。この施設は、カナダ・メソヂスト教会の宣教師たちが、日露戦争の結果、孤児や遺族が生れたのを「出征軍人遺家族幼児保管所」として開設したものでした。さらに、同郷の寺島のぶ経営の神戸養老院主任に請われ神戸に移り、同事業を手伝ったのでした。

折しも、大正時代の大不況時代に農村の多くの娘が売られ、転落してゆくさまを見かねていたノブは、彼女たちのための働きへの召しを天より受け、1915年（大正4）神戸市内に小さな家を借りて神戸婦人同情会を創設し「娘の家」と名付け、女性保護事業を開始。併せて、孤児の育成にも努めました。

また、女性の自殺が須磨の一の谷の海岸と国鉄線路に増え続けてきたので自殺防止のために、「一寸待て、神は愛なり。死なねばならぬ事情のある方は一度来て下さい」の大看板を掲げ、住所と電話を記載して、国鉄線路際に6カ所設置します。この看板は全国的にも大きな反響を呼ぶと共に、20年で3000人の命を救ったとも言われます。後日、同じく神戸で貧民救済事業をしていたキリスト教社会事業家で、戦後の総理大臣候補にも挙げられた・賀川豊彦が次のように言ったと伝えられます。

自殺防止の看板はあちこちにあるが、具体的に住所電話を記載し相談に乗りますと書いたのは城ノブだけだ。

ノブは、また、日本最初の婦人団体として1920年

に結成された新婦人協会において、市川房枝や平塚雷鳥らと共に、婦人解放運動に努めています。同協会の綱領は以下の通りです。

- 一、婦人の能力を自由に発達せしめるため、男女の機会均等を主張すること。
- 一、男女の価値同等観の上に立ちて、其の差別を認め協力を主張すること。
- 一、家庭の社会的意義を闡明すること。
- 一、婦人、母、子供の権利を擁護し、彼らの利益の増進を計ると共に、之に反する一切を排除すること。

これにより、男女共学・婦人参政権・婦人に不利な諸法制の改定・母性保護等の実現のため、女性が共同して活動するよう啓発活動を展開しています。

人生を予定することなく、召されるままに歩んだ城ノブは、1959年（昭和34）12月20日、クリスマス前に召天。生涯のモットーは、芦屋市靈園の彼女の墓にも刻まれている言葉で、次の通りです。

与えて思わず、受けて忘れず。
言葉は、夫・友二郎の墓石にも刻まれています。
以上で、紙芝居のフォローを終えますが、松山東

雲学園の「建学の精神」は次の通りです。

「信仰・希望・愛」であらわされるキリスト教精神にもとづき、神を畏れ、神による希望に生き、神と隣人を愛する、自立した女性を育成すること

「信仰・希望・愛」は、今日の聖書箇所に出てきたキーワードです。この書簡の発信者は言います。

その中で最も大きいものは愛である。

読みませんでしたが、こうも書かれています。

山を動かすほどの完全な信仰を持っていようと、愛がなければ無に等しい。全財産を貧しい人のために使い尽くそうとも、誇ろうとしてわが身を死に引き渡そうとも、愛がなければ……

クリスチヤンになること、キリスト者であることが大事なのではなく、ただ、一人の人間として隣人を愛して生きることこそ大切なのです。

愛は忍耐強い、情け深い、妬まない、自慢せず、高ぶらず、眞実を喜ぶ

のですから。

（2024年11月12日）

＜人権問題学習チャペル＞

自分らしく生きるために —女性差別について—

松山人権擁護委員協議会

人権擁護委員 名智 咲子

人は誰でも自分らしく生きたいと願うのですが、女性であるがゆえに自分らしく生きることを阻むものがあります。それが女性差別です。

みなさんの周りでは、夫のことを「主人」「旦那」と呼んでいる人がいませんか？ たいていの人はこの言葉を違和感なく使っているように思います。

作家の天童荒太さんは『ジェンダー・クライム』という最近の著書の中で「国全体社会全体に連綿として受け継がれてきた男女間の差別がある」とし、「『主人』『旦那』は対等な関係を表す言葉ではないが、このような言葉を無意識に使う（使わされる）文化が、女性や子供が被害を受ける犯罪やハラスメントを生む要因の一つになっている」と述べています。

つまり「男が上女は下」というような差別が社会の隅々に常識や慣行として受け継がれ人々の意識や行動に影響しているというのです。

でも「言葉は人の暮らしや社会の在り方を導く力がある。ささやかでも呼び方一つの影響力は小さくない」とも述べています。作中人物は「私の主人は私だからもう夫のことを主人と呼ばない」と述べています。みなさんも対等でない関係を表す言葉を使わないように意識してみませんか。ちなみにわたしは「主人」と呼びず「夫」「夫さん」とか名前で呼ぶようにしています。

差別の問題はいろいろありますが、時間の関係で性別役割分担に絞って話します。家父長制にもとづく性別役割分担「男性は仕事女性は家庭」（男が主で女は従）などの固定的な考えが根強くあります。これがいろんな差別を生んでいるといわれます。

高校で技術家庭科を男女と一緒に学ぶようになったのは今から 30 年前からです。それまでは、学校で性別役割分担を教えていたことになります。皆さんの親世代以上の人には、性別役割のみならず「女性

は」「男性は」などの固定的な観念を刷り込まれて育っています。今の学校生活の中では大分男女格差が少なくなりましたが、社会全体には男女の固定的な観念がたくさん残っています。

親世代に育てられたみなさんも、幼いころから男女の固定的な考え方を刷り込まれて育っています。「らしさ」や「こうあるべき」というような固定的な価値観の押し付けは抑圧になります。それに縛られて生きる必要はありません。日本人はジェンダーの固定的な観念に過剰に適応しようとしているといわれます。女性も男性も「らしさ」に縛られて不自由な生き方をしている人が多くいます。

皆さんは卒業したら正規職として就職すると思います。そして結婚出産となったとき、性別役割分担の罠があります。そのころは仕事の責任が増えストレスも増える時期になります。仕事をするのはしんどいなと思ったとき、「家庭に入り夫を支え子供を育てるのが女性の役割」と言う考えがあります。

本当にそうでしょうか。ここで仕事か家庭かという二択に悩む事になります。でも男性には辞めて家

庭に入るという選択肢はありません。

家事育児は女性の役割「はて？」そうでしょうか？古来家事育児介護は女性が無償で担う価値の低い仕事とみられてきました。そのため保育士や介護士の賃金が低いともいわれます。妻の支えとは何でしょう。妻が家政婦代わりに家事育児を担うことでしょうか。

女性が家庭に入れば夫の扶養家族になり扶養手当がつき税金の控除もありお得だという一見おいしい話もあります。それで夫の扶養家族になったら、育児に手がかかる期間は数年です。保育所などを利用してのりこえられます。たとえ子供と接する時間は短くても親子の関係はできますし関係ができれば子供は育ちます。幼児期は母親だけに育てられるよりは集団保育がよいと推奨されています。

「妻と子供を養う」ことが理想と考える男性がいますが、難しいのが現実です。妻も家計のために働くなくてはいけないけれど、お金のためだけに非正規の仕事をするしかありません。社会保険もなく最低の年金しかもらえないことになります。これが女性の貧困の大きな要因です。しかも基本的なところ

は夫に経済的に依存することになります。

ただお金を得るために働くのはもったいない。同じ働くならそこにはやりがいや喜びや誇りがもてれば素晴らしいと思いませんか。非正規がそうだとほいいませんが、時間や賃金を優先して仕事を選ぶことが多くなると思います。

日本では資格のある専門職以外で一度正規職を辞めたら正規職に復帰するという制度がほとんどありません。経済的な不安から言いたいことも言えず離婚を迷う人が多くいます。自分を犠牲にして夫に尽くした挙句「夫が出世しなかったから私の人生は不幸だ」と嘆くことになるかもしれません。それっておかしくありませんか。

他人の財布で生活できれば楽ではないかと考える人がいるかもしれません。ちょっと夫の機嫌をとつて短い時間働けばママ友とランチして楽しく暮らせるのではないか。本当にそうでしょうか。子育てがおわってから何十年も自分の人生とむきあうことになります。

私の友達は学生の時とても優秀でしたが夫が望ん

だために出産を機に家庭にはいりました。彼女は今「わたしは大学までいって何を学び何がしたかったのだろうか。もっと違う人生があったのではないかといつも考える」と嘆きます。でももう取返しがつかません。

結婚しても正規職として勤め続けた場合と、やめて非正規で働いた場合と生涯年収がどうなるか東京都が試算していますが、2億円近い差が出ると結果がでています。扶養手当などで得するお金は32年間で680万円ほどです。夫が望むからというのではなく、自分はどうしたいかよく考えて決めましょう。自分の一生にかかる問題です。仕事も結婚も子育ても両立できます。夫と家事育児を分担し周囲のサポートや子育て支援を上手に利用して両立させている家庭が増えています。

皆さんはデート費用は男性が持つべきだと思いますか?なぜ女性だからとおごってもらうのでしょうか。レディーファーストは女性蔑視の言葉です。女性は男性より弱い存在ととらえることからでた言葉です。一見女性だからと大切にされているようで実

は存在自体を下に見られていることがいろいろあります。女性差別に限らず、すべての差別は人としての尊厳を傷つけるものです。

私たちは女性である前に一人の人間です。人としての尊厳があり、自己決定権があり、自分らしく生きる権利があります。女性の生き方は一人の人間としての生き方なのです。でもそれを阻むものが差別です。

この状況は変えることができます。男女格差の少ない国も始めからそうだったわけではありません。平等を求めて女性たちが声をあげ社会を変え法や制度を変えてきました。変えるためには声をあげ行動することです。いろいろな方法がありますが、差別を認めないという強い気持ちを持つことです。変えるための武器があります。

武器の一つは「気づく」ことです。まず自分に気づくこと。私は何をしたいかどう生きたいか。そのために一人称で考え語りましょう。「わたしの主人はわたし」を意識しましょう。そして自分の周りの差別や理不尽に気づくことです。「はて?」

二つ目は学び考えることです。皆さんは大学で大いに学び知識教養を蓄え考える力をつけ、格差社会に負けない理論武装をしてください。理論武装とは自分の立場や主張を他人の批判から守るために様々な理論を準備しておくことです。

三つ目は、経済的に自立することです。自分で食べていける力を持つことは自分の人生を生きるために最低限必要です。

四つ目は支えあう関係を作ることです。シスター・フッドという言葉があります。直訳すると姉妹関係、女性同士の連帯親密なる結びつきを示す言葉ですが、不平等を許さない、社会を変えようという信念を共有する女性の仲間です。残念ながら女性だからといって女性の味方とはかぎりません。男性優位に迎合している女性政治家もいます。

でもきっと「こんなのおかしい」と思っている人が皆さんの周りにいますから同志を見つけて支えあいましょう。そして、パートナーをもつなら、互いを人として尊重しあえるパートナーを見つけてください。話し合える人、話をちゃんと聞いて

くれる人、話せばわかる人です。

ジェンダー平等は誰にとっても生きやすい社会です。最後にこの言葉を忘れず自分らしく生きてください。「わたしの主人はわたしです!!」

(2024年11月19日)

<音楽チャペル～Pray for Peace Part II～>

司式 キリスト教センター長・蔵前知美

前奏：「♪天使のことばも」 <聖歌隊>、<ピアノ>
詩の朗読：ムスアブ・アブートーハ「おうちってなに？」

おうちってなに？ おうちっていうのはね……

それは通学路に立つ木立がつくる日陰

根っこから木を抜かれる前のこと。

それはおじいちゃんおばあちゃんの結婚式の白黒写真
壁が粉々にされる前のこと。……

それはおじいさんがお祈りに使う敷物、冬の夜は
何十四物アリがその下で休んでいたんだ。

(それが)盗まれて博物館に入れられる前のこと。
それはかまど、おかあさんがパンを焼き鶏肉を焼いていたんだ。爆弾が家をがれきにする前の事。
それはカフェ、サッカーの試合を見たり遊んだり)…

*作者は1992年、ガザ地区難民キャンプ生まれ。昨年10月のイスラエル軍ガザ地区侵攻で自宅を破壊され、11月には拘束・暴行を受け、12月妻・子とエジプトへ脱出。両親ときょうだい家族はガザに。

*雑誌『現代詩手帖』5月号、特集「パレスチナ詩アンソロジー」『ガザで生まれた詩たち』2002。

交唱歌:「♪シャローム・サラーム」曲・高井郁代

*イスラエル(ヘブライ語シャローム)とパレスチナ(アラビア語サラーム)で「平和があるように」と交唱。

まねき:ルカによる福音書4章18-19節<朗読>

主の靈がわたしの上におられる。

貧しい人に福音を告げしらせるために、
主がわたしに油を注がれたからである。
主がわたしを遣わされたのは、

捕らわれている人に解放を、
目の見えない人に視力の回復を告げ、
圧迫されている人を自由にし、
主の恵みの年を告げるためである。

さんび: Amazing Grace (くしき恵み)
<聖歌隊>、<ギター>→<うた>、<ピアノ>
せいしょ ルカによる福音書6章20-21節<朗読>

イエスは目を上げ弟子たちを見て言われた。
「貧しい人々は、幸いである、
神の国はあなたがたのものである。
今飢えている人々は、幸いである、
あなたがたは満たされる。
今泣いている人々は、幸いである、
あなたがたは笑うようになる。」

バンド:ジョン・レノン「イマジン」
(オノ・ヨーコ詩集より着想)
<うた>、<ピアノ>、<ギター>、<ウッドベース>

想像して(イマジン)
何も所有しないって 君にも出来るんじゃないかな
欲張ったり飢えたりする必要ない 人類は皆きょうだい
想像して(イマジン)
すべての人々が 世界を分かち合っていると……

手話でうたおう:<うた&手話>、
<リード>宮崎頼子(松山東雲学園OB)、<ピアノ>
「あるこうみんなともに」、「にじ」、「キリストの平和」
合唱:「山の音楽家」「トトロ・メドレー」
<うた&ピアノ>こども園保護者会コーラス・サークル
合唱:「さんぽ」「トトロ」
<うた&なりもの>、<ピアノ>
さんびどうた 「かみさまのお約束」「かまきりおばさん」
<うた>こども園園児、<ピアノ>
合唱:「ドレミのうた」

<ピアノ><うた>こども園園児
+保護者会コーラス・サークル
せいしょ:創世記7:10-13より <朗読>
七日が過ぎて、洪水が地上に起った。ノア(たちは)

箱舟に入った。この日、大いなる深淵の源がことごとく裂け、天の窓が開かれた。雨が四十日四十夜地上に降り続いた。地の面にいた生き物はすべて……大地からぬぐい去られ(た)。

ちんもく:みんな
さんび:「長い雨が止んで」
日本贊美歌学会歌集『主よ来てください 風になつて』
<うた>、<ギター>
せいしょ:創世記8章1-3節/9章11-13節<朗読>

神は、ノアと彼と共に箱舟にいたすべての獸とすべての家畜を御心に留め、地の上に風を吹かせられたので、水が減り始めた。また、深淵の源と天の窓が閉じられたので、天からの雨は降り止み、水は地上から引いて行った。神はノア(たち)に言われた。「わたしがあなたたちと契約を立てたならば、二度と洪水が起つて地を滅ぼすこと(は)決してない。……代々とこしえにわたしが立てる契約のしるしはこれである。……わたしは雲の中にわたしの虹を置く。」

合 唱：「にじ」 新沢としひこ詞 / 中川ひろたか曲
＜うた＆手話＞、＜ピアノ＞
祝 祷：ルカによる福音書6章27,36節＜いのり＞

敵を愛し、あなたがたを憎む者に親切にしなさい。
悪口を言う者に祝福を祈り、
あなたがたを侮辱する者のために祈りなさい。
あなたがたの（神）が憐れみ深いように、
あなたがたも憐れみ深い者となりなさい。
イエス・キリストの恵み、神の愛、わたしたちを吹き抜ける聖なる風が、しののために連なる者、地域の人々、そして、世界の人々と共に、いつも、いつまでも、豊かにありますように。 アーメン。
さんび：「キリストの平和」『こどもさんびか』34番
　　＜手話＞みんな、＜ア・カペラ＞聖歌隊
クリスマスをまつ：「だから今日希望がある」 ＜聖歌隊＞
パプロ・ソーサ贊美歌集『おお なんという恵みよ!』
　　＜うた＞聖歌隊、＜ピアノ＞

(2024年11月26日)

＜アドヴェント・チャペル＞
マリアのマトリヨーシカ
ルカによる福音書1:26 - 31, 38

女子大学・短期大学 宗教主事 上島 一高

「マトリヨーシカ」を知っていますか。辞書は「ロシアの郷土玩具。木製の人形で、胴体が上下に分割できるようになっている。中に同じように分割できる人形が複数入れ子式に入っている。女性の絵が描かれているものが一般的。マトリヨーシカ人形」などと教えてくれます。

ロシア風には「マトリヨーシュカ」、これは昔のロシアの農民女性に多かった名前マトリョーナから来ています。由来はラテン語で母を意味する「マテル」。英語のマザーの語源でもありますね。ではこのマトリョーナとかのマトリヨーシカの関係は？

今日の聖書の主人公、イエスの母となるマリアは、ロシア語の女性名でも同じマリアです。ただ、日本語でも、同じ名前にも愛称など、色々な呼び名があ

るよう、親しい友人や恋人相手に用いる短縮形ではマリアはマーシャ／マーニャとなり、自分の子にはマリヨーシカ、使用人に使う卑称形では、「こらマーニカ」と言った感じです。

私は新婚時代、妻の美枝を、ミーニヤと呼んでいました。いつしか「みえさん」になりましたが。ミエが娘なら愛称でミーシュカ。ともあれ、マリアが愛称でマリヨーシュカとなるように、マトリョーナの愛称形がマトリヨーシュカとなるのです。

次に、マトリヨーシカ人形の「入れ子人形」としての特徴に目を向けましょう。「入れ子」とは「大きな箱や器の中に、それより一まわり小さくて同じ形のものを順々に入れしていくこと（そのような箱・器）」。そこから、「内に隠されている事情」の意味にも。派生した意味の方については、後回しにして、まずは入れ子式人形をイメージしましょう。

マトリヨーシュカを開けると、一回り小さいマトリヨーシュカが、もう一度開けると、また一回り小さい彼女が出て来る、どこまで行ってもというのも、それはそれで、はっとさせられるものです。根っこ

にはこの驚きがあります。さらには、思いがけないものが入っている驚きをもたらす場合も。

私の持っているのは、より原型に近いもので卵型、ナイトブルーの空に星座が刻まれています。北天には大熊座の北斗七星やW型のカシオペア座が、南天には南十字星、中ほどに星占いで利用される黄道12宮のシンボルマークが巡らされています。これ(①)を開きながら、また、絵本の画像を追いながら、マリアの物語を聴きましょう。「内に隠されている事情」の方に向かって行くのです。

絵本は1998年初版。シドニー・カーターの讃美歌「♪ロード・オブ・ザ・ダンス（日本語題「おどり出る姿で」）」の歌詞に沿って、聖書のイエスの物語が再話したもの、画はジャッキー・モ里斯。

天使のお告げ通りに、神さまから授かった幼子イエスだが、何者なのかわからない、少しあわてたと思っても、マトリヨーシカのように次の姿が出て来て、どこまで行けば？ そこまで行くか！ といった具合。でも、マトリヨーシカにも最後のピースがあります。それは何なのでしょう。マリアは最後に

何を知るのでしょうか。ともあれ、始まり始まり。

初めに、神は世界をお創りになりました。それは美しく、すばらしいものでした。しかし、人間たちは、彼らも神がお創りになったのでしたが、彼らは自分が「いい」と思う様に生きることを選びました。

一つの致命的過ちが、次の致命的過ちを引き起こしました。またたく間に、彼らの世界は不快な世界になってしまいました。悲しみと涙に満ちた世界に。

クリスマスの物語が始まります。最初の卵(マトリヨーシカ)を開いてみましょう(②)。マリアに天使ガブrielのお告げがあります。

おめでとう、恵まれた方。主があなたと共におられる。

マリアは戸惑い、いったいこの挨拶は何のことかと考え込みました。天使は言います。

マリア、恐れることはない。あなたは神から恵みをいただいた。あなたは身ごもって男の子を産むが、その子をイエスと名付けなさい。

マリアは応えて言いました。

お言葉どおり、この身に成りますように。

その頃、人口登録のために出身地に行けど、ロー

マ皇帝のお達しがあり、マリアはヨセフの出身地ベツレヘムに行き、宿屋でなく家畜小屋に泊まりました。赤ちゃんが生まれると、布にくるんで飼い葉桶をベッドにして寝かせました。そして、その名はもちろん、イエスと名付けたのでした。

知らせを真っ先に聞いたのは、野宿して羊の群れを見張る羊飼いたち。天使の大軍が歌います。

いと高き所には栄光、神にあれ、

地の上には平和、御心に適う人にあれ。

羊飼いは羊を連れて幼子に会いに行き、天使の告げた通りだと驚き、神を賛美しながら帰ります。不思議な出来事にマリアは思い巡らします。

次のマトリヨーシカを開いてみましょう(③)。物語が動き出します。大工の父ヨセフのもとで働いていたイエスがマリアの元から去りました。家族にとっては衝撃です。ヨルダン川の向こうで人々に悔い改めの洗礼を伝えていたヨハネの許へ行ったのでした。マリアの心は大きく揺れます。

やがて、イエスはヨハネの許を離れて、ガリラヤ地方に戻ります。排除され、軽んじられた人々と共に

に生きることを通し、神が其におられることを知らせます。しかし、「書かれた神の言葉」を説く学者たちからは厳しい非難を浴びることに。

母マリアはイエスの弟たちとイエスを訪ねましたが、取り次ぎ人の伝えたイエスの言葉は……。

私の母、私の兄弟とは、神の言葉を聞いて行う人たちだ。

理解を超えるイエスの言葉に戸惑うマリアです。

さらにマトリヨーシカを開いてみましょう(④)。

マariaは、他の女性たちと共に、イエスについて行きます。しかし、イエスはやがて捕えられ、十字架に架けられ、殺されました。

男の弟子たちは散り散りとなり、マariaたち女性たちがイエスの最期と遺体の葬りを見届けたのでした。幼子イエスを連れた最初の宮詣でシメオンから言われた通り、多くの人の思いが露わにされ、マaria自身も剣で心を刺し貫かれました。

さて、イエスの遺体は、秘かに従っていた議員のアリマタヤのヨセフらが総督ピラトに願い出て引き降ろされ、墓穴に納められます。遠くから見守るマ

リアたち。残されたのは深い沈黙です。

マトリヨーシカは、まだ終りではありません。もう一度、殻を開けると、金色の卵(⑤)が飛び出しました。イエスの葬りから足かけ3日の朝早く、女性たちは、イエスを納めた墓穴を塞いでいた墓石がわきに転がしていました。イエスの遺体も見当たりません。そこに天使が現れて言います。

なぜ、生きておられる方を死者の中に探すのか。

ここにはおられない。復活なさったのだ。

女性たちは、これを男性の弟子たちに知らせます。

マariaたちは、イエス自身が生き、伝えたいのちが、決して人間の力によって消し去ることが出来るいのちではないことを実感します。マariaは後に生まれる教会で、イエスの母として特別に重んじられましたが、彼女自身は、天使のお告げを聞いた時に答えた、あの最初の言葉から離れませんでした。

お言葉どおり、この身に成りますように。

(2024年12月3日)

<後学期終業・クリスマス・チャペル>

天使の合唱「地には平和」

ルカによる福音書 2:8 - 14

女子大学・短期大学 宗教主事 上島 一高

みなさん、隣の人が何を考えているか分かりますか。みんなそれぞれ別のことを考えています。分かるはずもありませんね。でも、一瞬で、皆が、一つのことを考え始める、想像し始めるしたら、どうでしょう。しかも、強制的ではなく、自分の心を動かされてそうしているとすれば。

2週間前、松山しののめ認定こども園のこどもたちが、私たちに届けてくれたクリスマス・ペーパージェントを思い出しましょう。そう、羊飼いが、野宿をしながら、夜通し羊の番をしていた場面です。辺りは暗く、ただ、暖を取り、おそらく猛獣から羊たちを守るための焚火だけが、羊飼いたちの姿をぼんやりと浮き立せています。

そこに、天使が現れて、辺りを明るく照らし出し

ました。羊飼いたちは非常に恐れます。何事かといふより、「主なる神の栄光」その圧倒的な神々しさに、彼らは思わず顔を伏せます。それゆえ、天使の第一声は、「恐れるな」でした。

そして告げます。原文では、「見よ、良い知らせだ、あなたがたへの。」羊飼いたちは、恐れから解き放たれ、全身を耳にして聞き入ります。そして、聞こえて来た次の言葉は、「大きな喜び」しかも「やがて全ての民のものとなる喜び」つまり、天使が伝えたのは、みんなの喜びなのです。一人のでも、仲間のでも、一国のでもない、「All the people」の。

現代で言えば、「わたしだけの」「日本だけの」「キリスト教を信じるものだけの」でないことはもちろんのことです。11月の音楽チャペルで、ジョン・レノン&ヨーコ・オノの「イマジン（想像してごらん）」が歌われました。Imagine there's no Heaven ……ですね。その中に、こんな歌詞があったのを覚えていますか。

込められた意味を、補いながら訳しますね。

想像してごらん、（こうすれば天国に入れると

いうような）天国なんてないって
やってみれば簡単さ、
想像してごらん、
(そんなことしていたら地獄に落ちるというような)
地獄も下にあるわけではなく、
僕らの上には、ただ（ぼくらを見下ろす）
空だけがあるんだって
想像してごらん、すべての人が、
(自分だけが手に入れる明日のためになく)
今日を生きているって
想像してごらん、國なんてないって
難しいことじゃない
(国のために)誰かを殺し、
(国のために)死ぬってこともない
(人を生かさず縛るような類の宗教のために)
誰かを殺したり、
殉教しなければならないってこともない
想像してごらん、
すべての人が、平和に生きているところを
後半の紹介は後程として、羊飼いたちに告げられ

た天使の言葉に戻りましょう。直訳だと、
生まれたんだ、あなたがたに、
今日、<救う者>が。

これに情報が付け加わります。「その救う者とは、伝説の王であるダビデの町に、王として油注がされた方、主なのだ」と。でも、大事なのは、「生まれたんだ、あなたがたに、今日、救う者が」です。

ただ、羊飼いたちからすれば、「そう言われても、にわかには信じがたい、そもそも何をもってそう信じよと？」ってところでしょう。大丈夫。天使は続けます。

これがあなたがたのための微（サイン）だ。
羊飼いたちは身を乗り出します。「何が？」
天使は言います。

あなたがたは見つける。赤ちゃんを、
布に包まれ、寝かされた（赤ちゃんを）。
ここで、羊飼いたちは、「どこに」を「聞き漏らすまい」と、天使の言葉に全神経を集中させます。そして、次の一句に驚くことになります。五七五の俳句も、結句、最後の五文字に、驚きが隠されてい

るよう。そして、「どこに」と待ち受ける彼らに
天使の口から零れた次の一句は。

飼い葉桶に。

でした。「飼い葉桶?????」何か、立派なところで、王様の赤ちゃんでも生まれるならともかく、飼い葉桶に寝かされている赤ちゃんなんて。ところが、その言葉に当惑する間もなく、突然、天使に天の大軍（大勢の軍隊）が加わり、神を賛美して、つまり、この神の御心（意思）を素晴らしいことだとほめたたえて、歌い始めました。

いとたかきところには栄光、神にあれ。

これが讃美歌「♪荒野の果てに」では、ラテン語で「グローリア・イン・エクセルシス・デオ」と歌われる言葉です。そして、こう続きます。

地には平和、人々に。

でも、何を讃えているかと言えば、羊飼いはまだ見ていないのですが、この「飼い葉桶の赤ちゃん」から始まる物語に込められた神さまの思いです。「始まりはどうでもいい」のではなく、このような始まりだからこそ、物語は展開して行くってことが重要

です。

先取りして言えば、赤ちゃん、しかも、布に包まれて、飼い葉桶に寝かせてある赤ちゃんには何の力も、物もありません。そこに、すべてのひとが共に生きて行ける不思議な種が宿っているのです。それぞれが、てんで勝手に自分のことを考えている、そのただ中で、飼い葉桶の赤ちゃんにみんなが注目し、そして、夢見る時。

イマジンの後半を見て行きましょう。こう歌い始められます。You may say I'm a dreamer.....

君は言うだろうね。

お前は（あり得ない）夢を見ている奴だなど
でも、夢を見ているのは僕だけじゃない
いつか、
君たちも夢見る者に加わってくれるといいな
そうすれば、世界は一つになるよ
一人のことを皆が思っている。キリスト教の教祖
さまのことというような意味合いで、偉い人のことを
思っているというのではなく、家畜小屋の飼い葉
桶をベッドに、布にくるまれて寝ている貧しい赤
ちゃんのことを世界中のみんなが思っていると考え
ると、不思議で、清々しく、やさしい気持ちになる
のです。アンジェラ・バレットの絵本「誰が信じら
れる？」のお話しのように。
彼らは行った：きつねにおんどり、
(想像してごらん)

奪い尽くす必要も、
飢える必要もないってことを

(想像してごらん) そんなきょうだい愛を
想像してごらん、
すべての人が、世界を分かち合っているのを
君は言うだろうね。

お前は（あり得ない）夢を見ている奴だなど
でも、夢を見ているのは僕だけじゃない
いつか、

君たちも夢見る者に加わってくれるといいな
そうすれば、世界は一つになるよ

一人のことを皆が思っている。キリスト教の教祖
さまのことというような意味合いで、偉い人のことを
思っているというのではなく、家畜小屋の飼い葉
桶をベッドに、布にくるまれて寝ている貧しい赤
ちゃんのことを世界中のみんなが思っていると考え
ると、不思議で、清々しく、やさしい気持ちになる
のです。アンジェラ・バレットの絵本「誰が信じら
れる？」のお話しのように。

彼らは行った：きつねにおんどり、

おおかみにひつじ、いぬにねこ
ねこにねずみ、ふくろうにトガリネズミ、
そして、にんげんたち

いたち、フェレット、おこじょにウサギ
狩人、獵犬と耳長ウサギ、
くじらに曳かれてボートも、岸へ

道半ば、野にも、森にも、町の通りにも
雪が舞い落ちてきた
クリスマスの夜、時計の針は 12 時

皆が馬小屋についたとき、
誰もが見た（飼葉桶の赤ちゃんを）

ほんとうだ！ 本当だ！ 皆ひざまずいた
羊飼いたちに知られたこのように徴は、2000
年前だけのことではありません。聖書に「求めよ、
さらば与えられん、探せ、さらば見出す」と言われ
ている通りです。平和と一緒に求め、一緒に探し、
一緒にイマジン。

(2024年12月24日)

編集後記

第10号まで縦書きB5版でしたが、横文字表記の便にも配慮して、同版横書きでの編集を決議（キリスト教センター会）。また、読み易さと経済性から、20頁（3割）ほど容量を絞っています。

一方、2度の音楽チャペルは、年度テーマ「心に平和を」(Pray for Peace)を反映させた構成となり、プログラム自体にメッセージ性があるため、いかんか省略しつつも、掲載することとしました。

今後、紙ベースの継続か電子版(PDF)での発行かの曲がり角に来ていますが、いずれにせよ、話し手と聞き手によって紡ぎ出される毎回のチャペルの記録である本冊子は、今後への貴重な里程碑です。

宗教主事 上島 一高

【テーマ】『心に平和を』

「平和を実現する人々は、幸いである。その人たちは神の子と呼ばれる。」（マタイによる福音書5章9節）

	前学期	行事名・テーマ	スピーカー
1	4/9 (火)	〈新入生歓迎チャペル〉 【心に平和を】	高橋 圭三先生（女子大学・短期大学 学長）
2	4/16 (火)	〈イースター・チャペル〉 【踊り出るいのちは】	上島 一高先生 (日本キリスト教団松山教会 牧師／女子大学・短期大学 非常勤講師)
3	4/23 (火)	ミニ・チャペル 【女性のからだに関する講話】	樋ノ口 実加様、山下 日菜子様、青野 沙耶様 (松山市こども家庭センター すぐく支援課)
4	4/30 (火)	ミニ・チャペル 【職業のトラブルに関する労働相談事例等の紹介】 〈学生総会・学生会認証式〉	村田 肇之様（愛媛県労働委員会会長）
5	5/7 (火)	〈開学記念チャペル〉 【私の青春時代】	丸木 公介先生（松山東雲学園 理事長）
6	5/14 (火)	ミニ・チャペル 【注意したい消費者トラブル】 【薬物乱用防止】	橋本 伸一様（愛媛県消費者教育推進専門員）

7	5/21 (火)	牧師招待チャペル 【共に生きることを願って～教会こども食堂・フードバンクの働きを通して～】	森分 望 先生（日本キリスト教団三津教会 牧師）
8	5/28 (火)	ミニ・チャペル 〈前学期防災訓練〉 【マイタイムライン】	細川 雅俊 様 小木曾 新 様（松山南消防署）
9	6/4 (火)	「二宮邦次郎賞」授与式	高橋 圭三 先生（女子大学・短期大学 学長）
10	6/11 (火)	〈前学期始業チャペル〉 音楽チャペル～Pray for Peace～ 共に食べ、共に歌う	高井 郁代 先生 (日本キリスト教団松山教会オルガニスト／非常勤講師)

	後学期	行事名・テーマ	スピーカー
1	10/22 (火)	〈後学期始業チャペル〉 【なぞなぞ なになに なにぬねの】	上島 一高 先生（宗教主事）
2	10/29 (火)	【私の青春時代 その2】	丸木 公介 先生（松山東雲学園 理事長）
3	11/5 (火)	〈広島平和学習〉 【ああヒロシマよ、ヒロシマよ】	橋本 真 先生（谷の百合幼稚園 園長）
4	11/12 (火)	・紙芝居『城ノブの一生』 ・ショート・メッセージ 【愛媛のマザー・テレサ 城ノブ】	稲田 美優 さん（女子大 子ども専攻 4年） 上島 一高 先生（宗教主事）

5	11/19 (火)	ミニ・チャペル 【デートDV被害防止について】 【自分らしく生きるために】	名智 咲子 様（松山人権擁護委員協議会）
6	11/26 (火)	〈音楽チャペル Pray for Peace ~Part II～〉 【手話で歌おう】	宮崎 賴子 様（松山東雲学園 OB）
7	12/3 (火)	〈アドヴェント・チャペルI〉 【マリアのマトリョーシカ】	上島 一高 先生（宗教主事）
8	12/10 (火)	〈アドヴェント・チャペルII〉 クリスマス・ページェント（降誕劇）	松山しののめ認定こども園 年長組
9	12/17 (火)	〈アドヴェント・チャペルIII〉 松山東雲学園同窓会「雪びら奨学金」授与式 【あ、あの星はなんだ】	菅田 栄子 様（松山東雲学園 同窓会 会長）
10	12/24 (火)	〈アドヴェント・チャペルIV・後学期終業チャペル〉 クリスマス・チャペル 【天使の合唱「地には平和」】 ・学生総会・新学生会認証式	上島 一高 先生（宗教主事）

キリスト教センター：蔵前 知美(長／女子大心理子ども学科教員)、加納 章(短大保育科教員)、安井 喜歌(職員)、渡辺 騰記(職員)
 宗教主事：上島 一高(教員)
 奏楽：河内 奈穂(短大保育科教員)、明本 遙(女子大心理子ども学科教員)、
 高井 郁代(日本キリスト教団松山教会オルガニスト／非常勤講師)

「われ、黎明をよびさまん。」(『詩篇』57:8)

黎明（しののめ）

(チャペル・トーク集 11号)

2025年3月発行

松山東雲女子大学

松山東雲短期大学

キリスト教センター